

## 2学年シラバス 目次

学校シラバス.....  
2学年（Iコース）シラバス.....

### 【Iコース共通】

現代文B.....  
古典B.....  
コミュニケーション英語Ⅱ.....  
英語表現Ⅱ.....  
体育.....  
保健.....  
情報の科学.....  
家庭基礎.....  
総合探究.....

### 【Iコース文系】

世界史B.....  
日本史B.....  
数学Ⅱ・B.....

### 【Iコース理系】

数学Ⅱ.....  
数学B.....  
化学.....  
生物.....  
物理.....

## 学校シラバス

### 校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

### 本年度の努力目標

- 1 奉仕と思いやりの心を持つ
- 2 新校舎を大切に学ぼう
- 3 対策をして楽しもう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育, 教科指導を計画的に推進し, 学力の定着と向上を図り, 生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 シラバスを作成し, 生徒・保護者へ提示する。</li> <li>2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し, 幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。</li> <li>3 卒業前の3年生に, 学外からの出前講座, 教員による校内講座を行い, 幅広い教養を身に付ける。</li> <li>4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。</li> </ol>
国際理解教育を推進し, グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ネイティブ教員によるTT授業で, 英語の4技能の育成を図る。</li> <li>2 課外講座で, 英会話講座を実施して語学力の育成を図る。</li> <li>3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に, ケンブリッジ大学・オーストラリア海外語学研修を実施する。(令和4年度は派遣中止)</li> </ol>
自主的・主体的な学習への取り組みを通して, 社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自学室・自習室・サポート室を活用し, 生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。</li> <li>2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。</li> <li>3 基礎学力到達度テスト対策に, 春期特別授業を実施する。</li> <li>4 大学進学に向けて, 各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。</li> <li>5 図書館を利用して, 生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。</li> </ol>
学校行事や課外活動を通して, 人間的成長を促し, 円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 修学旅行を通して, 団体行動や平和について学習する。</li> <li>2 部活動を通して, 心身を鍛え自主性や協調性を育成する。</li> <li>3 文化祭などの学校行事を通して, 自主性や創造性, 協働性を身に付けるとともに, 仲間との達成感を共有する。</li> <li>4 芸術鑑賞会を通して, 広く芸術に触れ, 親しむ心を育成する。</li> <li>5 身だしなみ向上週間の活動を通じて, 自律心を育成する。</li> </ol>
学校の安全管理を徹底するとともに, 安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校安全計画, 防災マニュアル(安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル)を実践する。</li> <li>2 火災や地震を想定した避難訓練, および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。</li> <li>3 地歴公民や保健体育の授業, ホームルーム活動を通じて, 安全や健康について学習する。</li> <li>4 交通安全教室, スマホ安全教室等を実施し, 生徒の危機管理意識を育成する。</li> </ol>

## I コース 2 学年 教育活動シラバス

月	指導内容等	指導のねらい
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面式・1 学期始業式</li> <li>・ ①進路希望調査</li> <li>・ ①体育クラス及び強化部集会</li> <li>・ 健康診断、身体測定、歯科検診</li> <li>・ 基礎学力到達度テスト</li> <li>・ 個人面談</li> <li>・ 服装頭髪指導</li> <li>・ 防災避難・通報・消火訓練</li> <li>・ 学級懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校 2 年生への切り替え</li> <li>・ 進路を考える「力」の育成</li> <li>・ 生徒の自律、自覚指導</li> <li>・ 健康維持増進の啓蒙</li> <li>・ 学力向上への啓蒙</li> <li>・ 精神面・生活面・学習面の個別指導・情報把握</li> <li>・ 規範意識の高揚</li> <li>・ 安全な学校生活を送るための準備</li> <li>・ 保護者との連携</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒総会</li> <li>・ 実力診断テスト</li> <li>・ 校内体育大会(球技系)</li> <li>・ ①進路ガイダンス</li> <li>・ ①参観授業</li> <li>・ 春の交通安全登校指導, 自転車点検</li> <li>・ ①学校生活アンケート</li> <li>・ 1 学期中間試験</li> <li>・ 下宿訪問</li> <li>・ 身だしなみ向上週間</li> <li>・ ①英検</li> <li>・ ロハス探求テーマ募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒会活動への自主的参加</li> <li>・ 普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・ HR 集団づくり</li> <li>・ 学問分野の情報収集</li> <li>・ 授業の公開及び保護者との連携強化</li> <li>・ 登校時の安全指導</li> <li>・ 生徒の悩み等の把握</li> <li>・ 普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・ 下宿生に対する生活指導</li> <li>・ 自己管理の徹底</li> <li>・ 資格取得へのチャレンジ</li> <li>・ 工学部との連携学習活動</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣替え、身だしなみ向上週間</li> <li>・ ②進路ガイダンス</li> <li>・ ①漢検、①数検</li> <li>・ ②体育クラス及び強化部集会</li> <li>・ ①献血</li> <li>・ 1 学期期末試験</li> <li>・ ロハス探求テーマ決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己管理の徹底</li> <li>・ 日本大学学部説明会</li> <li>・ 資格取得へのチャレンジ</li> <li>・ 生徒の自律、自覚指導</li> <li>・ 公共心の涵養、ボランティア体験</li> <li>・ 普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・ 工学部との連携学習活動</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学期期末試験</li> <li>・ 性についての話</li> <li>・ ロハス探求テーマ説明会(理系)</li> <li>・ アカシヤ祭</li> <li>・ 三者面談</li> <li>・ 1 学期終業式</li> <li>・ 夏季進学補習</li> <li>・ ロハス探求テーマ希望調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・ 自己を守るための指導</li> <li>・ 工学部との連携学習活動</li> <li>・ クラスメイトとの協働及び集団作り</li> <li>・ 保護者との連携及び生徒の状況把握</li> <li>・ 1 学期のまとめ</li> <li>・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着及び学習習慣の定着化</li> <li>・ 工学部との連携学習活動</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季進学補習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着及び学習習慣の定着化</li> </ul>

9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式</li> <li>・服装頭髪指導</li> <li>・②進路希望調査</li> <li>・③体育クラス及び強化部集会</li> <li>・スタディサポート</li> <li>・②漢検</li> <li>・ロハスクラスガイダンス(理系)</li> <li>・生徒会役員選挙</li> <li>・ロハス探求ファーストコンタクト</li> <li>・②参観授業</li> <li>・②学校生活アンケート</li> <li>・秋の交通安全指導</li> <li>・校内体育大会(運動会系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学期スタート指導</li> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・生徒の進路希望状況の把握</li> <li>・生徒の自律、自覚指導</li> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・資格取得へのチャレンジ</li> <li>・ロハスクラスの説明</li> <li>・生徒会活動への積極的な参加</li> <li>・工学部との連携学習活動</li> <li>・保護者との連携</li> <li>・生徒の悩み等の把握</li> <li>・登校時の安全指導</li> <li>・HR集団づくり</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣替え、身だしなみ向上週間</li> <li>・防災避難・通報・消火訓練</li> <li>・②英検</li> <li>・2学期中間試験</li> <li>・下宿訪問</li> <li>・授業評価アンケート</li> <li>・芸術鑑賞会</li> <li>・グローバルイズムワークショップ(希望者)</li> <li>・体験特指(希望者)</li> <li>・②献血</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己管理の徹底</li> <li>・安全な学校生活を送るための準備</li> <li>・資格取得へのチャレンジ</li> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・下宿生に対する生活指導</li> <li>・日頃の授業評価</li> <li>・文化面及び情操面の教育</li> <li>・グローバル化に向けた行事への参加</li> <li>・コース変更希望者の体験学習</li> <li>・公共心の涵養、ボランティア体験</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベネッセ総合学力テスト(11月)</li> <li>・修学旅行</li> <li>・③進路ガイダンス</li> <li>・身だしなみ向上週間</li> <li>・保護者対象進学説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・探求的な学修活動への取り組み、他者との協働学習、自己管理の徹底</li> <li>・志望理由書の作成</li> <li>・自己管理の徹底</li> <li>・保護者との情報共有及び連携</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ向上週間</li> <li>・2学期期末試験</li> <li>・工学部学科説明会</li> <li>・2学期終業式</li> <li>・クリスマスフェスタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己管理の徹底</li> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・学問分野の理解</li> <li>・2学期の総括</li> <li>・文化活動の発表体験</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業式</li> <li>・服装頭髪指導</li> <li>・④体育クラス及び強化部集会</li> <li>・実力診断テスト</li> <li>・③英検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学期へのスタート指導</li> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・生徒の自律、自覚指導</li> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・資格取得へのチャレンジ</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベネッセ総合学力テスト(2月)</li> <li>・③学校生活アンケート</li> <li>・②数研、③漢検</li> <li>・予餞会</li> <li>・学年集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・生徒の悩み等の把握</li> <li>・資格取得へのチャレンジ</li> <li>・卒業生送別会</li> <li>・2年生の総括指導</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期期末試験、特別授業、スタディサポート</li> <li>・④進路ガイダンス</li> <li>・3学期終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の学習及び学力の定着確認</li> <li>・基礎学力到達度テストに向けて</li> <li>・1年間の総括</li> </ul>

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
現代文B	3	2	Iコース全クラス

教科書名 **●新編 現代文B (数研出版)**

副教材名 **◆三訂版 プロGRESS〈読解・論点・探究〉現代文総演習標準編 (いづな書店)**

**◆現代文練習帳 ことのは (いづな書店)**

**◆新版六訂カラー版新国語便覧 (第一学習社) ※デジタル版 1年次購入済み**

### 1. 科目目標

- ①近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力育成し、伝え合う力を高める。  
 ②設問を分析して出題者の意図を読み取りながら問題を解く読解方法を身につける。  
 ③語彙力を高め、ものの見方や感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を身につける。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	～ ～ 1 学 期 ～ ～ ・オリエンテーション ・日大基礎学力到達度テスト対策 ・日大基礎学力到達度テスト解説 ●随想1「素直に生きる」 〃 〃 ※実力診断テスト解説 ●小説1「彼らが失ったものと失わな かったもの」 〃 単元学習後のまとめ	・現代文の学習方法とその意義を理解する。 ・基礎学力到達度テスト過去問に慣れる。  ・設問を分析して解答をつくる方法を学ぶ。  ・登場人物の心情の変化を根拠から読み解く方法を学ぶ。
		5	●1学期中間試験 (5/23～5/26) 中間試験ふりかえり 〃 ●評論 (一)「失敗談」 〃 〃 単元学習後のまとめ
	6	単元学習後のまとめ ●1学期期末試験 (6/28～7/1)	・きっかけ・行動・心情の三要素を利用しながら設問に対する解答をつくる方法を確認する。 ・テスト分析を通して、自分の弱点を発見する。 ・テキストワークプリントの設問を解き、理解を深める。 ・主題を考える。感想等を発表し合う。

2 学 期	9	<p>～ ～ 2 学 期 ～ ～</p> <p>スタディーサポート解説</p> <p>●評論（一）「進化と適応」</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>単元学習後のまとめ</p> <p>●小説（二）「花のような人」</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>単元学習後のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論の読み方について学ぶ。</li> <li>・ 具体例に注目し、抽象的な意見をとらえる。</li> <li>・ テキストワークプリントの設問を解き、具体例を基に筆者の抽象的意見をとらえる。</li> <li>・ 筆者の主張を把握し、感想をまとめる。</li> <li>・ 小説の読み方について学ぶ。</li> <li>・ 情景描写から登場人物の心理描写を読み取る。</li> <li>・ テキストワークプリントの設問を解き、理解を深める。</li> <li>・ 作品の表現上の特徴について考える。</li> <li>・ 主題を考える。感想等を発表し合う。</li> </ul>
	10	<p>予備</p> <p>◆2学期中間試験（10/11～10/14）</p> <p>●評論（二）「ロボットと人間の未来」</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆者の考えを読み取り、テキストワークプリントの設問に対して、本文の記述によりアウトプットする。</li> </ul>
	11	<p>単元学習後のまとめ</p> <p style="text-align: center;">※修学旅行創作 短歌</p> <p>●評論（二）「建築とは何か」</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>単元学習後のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験記録に有意義な短歌づくりの方法を学ぶ。</li> <li>・ 感情の記憶をたどり実際に短歌をつくる。</li> <li>・ 筆者の主張を読み取り、今後を予想する。</li> <li>・ 評論の読み方について学びを深める。</li> <li>・ 具体例に注目し、抽象的な意見をとらえる。</li> <li>・ テキストワークプリントの設問を解き、理解を深める。</li> <li>・ 筆者の主張を把握し、感想をまとめる。</li> </ul>
	12	<p>◆2学期期末試験（12/5～12/8）</p> <p>●小説（三）「こころ」</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>※2学期終了</p> <p>冬休み課題 『こころ』を通読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の心情の変化を詳細に読み取る。</li> <li>「お嬢さん」をめぐる「私」と「K」の関係と生き方から人間の弱さと強さを考える。</li> </ul>

3 学 期	1	<p>～ ～ 3 学 期 ～ ～</p> <p>○総合学力テスト過去問演習（評論） ○総合学力テスト過去問演習（小説） ※ベネッセ総合学力テスト ○ベネッセ総合学力テスト解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2学期を通じて学習してきた内容がどれだけ身についているかを過去問演習によって確認し、直前対策とする。</li> <li>・解説授業を通して、振り返りをする。</li> <li>・小説の舞台となっている明治期の文化を知り、恋愛や友情について考える。</li> <li>・討論やグループ発表等を行い、言語表現能力を養う。</li> <li>・テキストワークプリントの設問を解き、理解を深める。</li> <li>・筆者の考えからどのようなことを学んだかをまとめ、今後の人生にどのように役立てられるかグループで発表し合う。</li> </ul>
	2	<p>●小説（三）「こころ」つづき 〃 〃 〃 単元学習後のまとめ</p>	
	3	<p>●随想（二）「伝える極意」 〃 〃 〃 単元学習後のまとめ</p>	
	◆3学期期学年末試験（3/2～3/6）		
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>○文芸コンクール課題（詩・短歌・俳句・小説の創作） ○授業ノート・テキストワークプリント・『プログレス現代文総演習』等。 ○『ことのは』（漢字の書き取り）の小テスト。</p>			
<p><b>【第1・2学期の評価方法】</b></p> <p>■定期試験の素点に20%を上限とした平常点(課題・提出物・小テスト・授業態度等)を加味し、学期末ごとに総合評価をつける。</p>			
<p><b>【第3学期の評価方法】</b></p> <p>■定期試験の素点に20%を上限とした平常点(課題・提出物・小テスト・授業態度等)を加味し、年間の総合評価をつける。</p>			
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>■5回の定期試験の素点平均に0.8を掛けた値に平常点を加えたものを評点とし、評定を算出する。 ■平常点は20点を最高とし、各学期の平常点の平均を年間の平常点とする。</p>			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■授業に取り組む態度・姿勢</li> <li>・意欲的に授業・学習活動に取り組んでいるか。</li> <li>■学習課題への取り組み</li> <li>・問題や問いに対して考えようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■授業態度や学習活動への取り組み方</li> <li>■課題(ノート・その他)の提出状況</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>■筆者(作者)の考えや主張に対する理解状況</li> <li>・作品を読み、筆者(作者)の考えや主張を理解しているか。</li> <li>・情景描写等を基に人物の心情を理解しているか。</li> <li>・さまざまな語彙や表現技法等に注意しながら、本文の内容を理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習活動への取り組み状況</li> <li>■課題(ワークシート等)やノートチェック</li> <li>■定期試験・模試</li> </ul>
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>■考えや感想をまとめる</li> <li>・筆者(作者)の考えや主張を記述等で表現できるか。</li> <li>・自分の考えや感想を記述等で表現できるか。</li> <li>・修学旅行での自分の見聞を短歌にまとめることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習活動への取り組み状況</li> <li>■課題(ワークシート等)やノートチェック</li> <li>■定期試験・模試</li> <li>■紙上短歌会への投稿</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>■語彙力や表現力の活用・応用</li> <li>・「プログレス現代文総演習」等を活用し、読解力やさまざまな表現技法が身に付いているか。</li> <li>・「ことのは」等を活用し、語彙力の向上に努めているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■定期試験・模試</li> <li>■小テスト</li> <li>■学習活動への取り組み状況</li> <li>■課題(ワークシート等)やノートチェック</li> </ul>

### 4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

- 授業に必要なものを確実に準備し、課題の提出期限を厳守すること。  
 <毎時間準備するもの> iPad・教科書・ノート・プログレス三訂版現代文総演習
- 問題や問いに対して興味を持ち、解決しようとする姿勢をもつこと。また語彙力・表現力を向上させ、さまざまな考え方や見方を身に付け、自ら基礎学力の向上を図ること。
- 主体的かつ意欲的に学習に取り組むこと。辞書・便覧等を活用し、よく調べ考えること。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
古典B	4	2学年	Iコース全クラス

教科書名 ●古典B（教育出版）

副教材名 ◆必携これからの古典文法（尚文出版）     古典文法練習ノート（尚文出版）

◆精選漢文（尚文出版）     精選漢文基本練習ノート（尚文出版）

◆古典グレートラーニング 48 レベル1（尚文出版）

◆古典文法集中トレーニング 用言編（いいずな書店）

◆古典文法集中トレーニング 助動詞編（いいずな書店）

◆古典文法集中トレーニング 敬語・識別編（いいずな書店）

◆新版六訂カラー版新国語便覧（第一学習社）※デジタル版 1年次購入済み

1. 科目目標

- ①古文と漢文を読むことを通して、日本文化や日本文化に影響を与えた中国文化を学び、広い視野・多様な思考を育む。
- ②古人の考えを理解する。
- ③文法や語彙、古典知識を学び、古典文学を読み解く力を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p>～ ～ 1 学 期 ～ ～</p> <p>○オリエンテーション（1）</p> <p>○基礎学力到達度テスト対策 （3～4）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の学習方法とその意義を理解する。</li> </ul>
	5	<p>●<span style="border: 1px solid black;">古文</span> 説話「沙石集」〈児の知恵〉（6）</p> <p>●<span style="border: 1px solid black;">漢文</span> 故事・逸話「漱石沈流」（3）</p> <p>○【自学】古典文法・精選漢文 古典グレートラーニング 48 レベル1</p> <p>◆1学期中間試験（5/23～5/26）</p>	

<p>6</p>	<p>●<b>古文</b> 日記「更級日記」 〈継母との別れ〉(8)</p> <p>●<b>漢文</b> 故事・逸話「鄧哀王曹沖」(8)</p> <p>○【自学】古典文法・精選漢文 古典グレートラーニング48レベル1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記文学を学ぶことで、人物関係や登場人物の心情を通して作品を正しく理解する。</li> <li>・古典文法・重要語句を理解する。</li> <li>・和歌と和歌の修辞技法を正しく理解する。</li> <li>・故事・逸話から故事成語の成り立ちを理解し、作品の背景・登場人物の心情を正しく理解する。</li> <li>・論理の展開に注意して、表現の工夫や、登場人物の人柄を理解する。</li> <li>・演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を身につける。</li> <li>・演習を通して実践的な読解方法を身につける。</li> </ul>
<p>7</p>	<p>◆1学期期末試験(6/28～7/1)</p>	
<p>【課題・提出物】</p>		
<p>○文芸コンクール作品(詩・短歌・俳句・小説の創作)。</p>		
<p>○授業ノート、グレートラーニング48、その他課題プリント等。</p>		
<p>○国語頻出問題1200から古典小テストを実施する。</p>		
<p>【1学期の評価方法】</p>		
<p>■期末テストの点数に0.8を掛けた点数と、平常点を加えたものを評点とする。</p>		
<p>■平常点は課題や提出物の提出状況と章テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は20点とする。</p>		
<p>2 学 期</p>	<p>月</p> <p>学習内容</p> <p>9</p> <p>スタディーサポート</p> <p>●<b>古文</b> 作り物語「源氏物語」 〈光源氏の誕生〉(8)</p> <p>●<b>漢文</b> 思想「論語」(5)</p> <p>○【自学】古典文法・精選漢文 古典グレートラーニング48レベル1</p>	<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文法・重要語句を理解し、古文を正しく理解する。</li> <li>・時代背景や複雑な人間関係から、登場人物の心情を正しく理解する。</li> <li>・儒家の思想を学ぶとともに、当時の時代背景や諸子百家についての成り立ちを理解する。</li> <li>・論理の展開に注意して、表現の工夫や、登場人物の人柄を理解する。</li> <li>・演習を通して古文・漢文の語彙・文法・知識を身につける。</li> <li>・演習を通して実践的な読解方法を身につける。</li> </ul>

<p>10</p> <p>◆ 2学期中間試験 (10/11～10/14)</p> <p>● <b>古文</b> 随筆「枕草子」 〈中納言参り給ひて〉(8)</p> <p>● <b>漢文</b> 史記「鴻門の会」(9)</p> <p>○ <b>【自学】</b> 古典文法・精選漢文</p> <p>11 古典グレートラーニング48レベル1</p> <p>◆ 2学期期末試験 (12/5～12/8)</p> <p>● <b>古文</b> 歌物語「大和物語」 〈峰のもみぢ葉〉(6)</p> <p>12</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な随筆作品から平安時代の宮中での生活を知り、古典文学を理解する。</li> <li>・複雑な敬語表現を正しく理解する。</li> <li>・中国の正史を学び、壮大な歴史や人物関係、人物像に触れることで多様な思想を育む。</li> <li>・歌物語を学ぶことで人物関係や登場人物の心情を正しく理解する。</li> <li>・和歌の修辞法や敬語表現を理解する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>○授業ノート、グレートラーニング48、その他課題プリント等。</p> <p>○スタディーサポート活用BOOK。</p> <p>○これからの古典文法から古典小テストを実施する。</p>		
<p><b>【2学期の評価方法】</b></p> <p>■中間テストと期末テストの点数の合計を2で割り、その値に0.8を掛けた点数に、平常点を加えたものを評点とする。</p> <p>■平常点は、課題や提出物の提出状況と、確認テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は20点とする</p>		
<p>月</p>	<p>学習内容</p>	<p>学習のねらい</p>
<p>3 学 期</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>●漢文「桃花源記」(8)</p> <p>実力診断テスト</p> <p>○ <b>【自学】</b> 古典文法・精選漢文</p> <p>古典グレートラーニング48レベル1</p> <p>◆ 3学期期末試験 (3/2～3/6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の文学から作品の背景・登場人物の心情を正しく理解する。</li> <li>・句形・重要語句を通して漢文を正しく理解する。</li> <li>・演習を通して実践的な読解方法を身につける。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>○授業ノート、グレートラーニング48、その他課題プリント等。</p> <p>○これからの古典文法から古典小テストを実施する。</p>		
<p><b>【3学期の評価方法】</b></p> <p>■定期試験の素点に20%を上限とした平常点(課題・提出物・小テスト・授業態度等)を加味し、年間の総合評価をつける。</p>		
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>■5回の定期テストの平均に0.8を掛けて出た値に平常点を加えたものを評点とし、評定を算出する。</p> <p>■平常点は20点を最高とし、各学期の平常点の平均を年間平常点とする。</p>		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>■授業に取り組む態度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に興味を持って学習に取り組んでいるか。</li> </ul> <p>■課題への取り組み状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文学を理解するための努力をしているか。</li> </ul> <p>■課題の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度の観察。</li> <li>・提出物等。</li> </ul>
思考・判断	<p>■古典文法を応用しての、文意の理解状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典文学を読み、内容を把握し、登場人物の心情を読み取り、作者の考え方を理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度の観察。</li> <li>・提出物等。</li> <li>・定期テスト・模試。</li> </ul>
技能・表現	<p>■感想や意見をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物等。</li> <li>・定期テスト・模試。</li> </ul>
知識・理解	<p>■古典文法等を理解し、応用できるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の基礎知識が身についているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト・模試。</li> <li>・学習活動への参加姿勢や態度の観察。</li> </ul>

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<p>■予習復習を怠らないこと。品詞分解や辞書、ワークを使っでの解法などを自主的に行い基礎学力の向上を図ること。</p> <p>■主体的に学習に参加すること。古典分野への興味を持って学習し、自ら考え学ぶ姿勢を持つこと。</p> <p>■必要なテキスト等を準備して授業に臨むこと。</p> <p>【古文の分野】…教科書・ノート・これからの古典文法・辞書</p> <p>【漢文の分野】…教科書・ノート・精選漢文等</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目	単位数	対象学年	対象クラス
コミュニケーション英語 II	5	2	I コース

教科書名	Revised BIG DIPPER English Communication II	(数研出版)
副教材名	改訂版 BIG DIPPER English Communication II ベーシックノート	(数研出版)
	英文で覚える英単語ターゲット R 1200 レベル	(旺文社)
	Listening Platform 2	(いっずな書店)

1. 科目目標

<p>学習のねらい</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を身に付ける。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	Lesson 1 <i>Washoku</i> Around the World 世界に広がる和食文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>和食文化について理解する。</li> <li>現在完了, 過去完了, 受動態を理解する。</li> <li>SVC (C=現在分詞, 過去分詞) を理解する。</li> <li>数の増減を伝える表現を学習する。</li> </ul>	
	5	Lesson 2 Chirori, the First Therapy Dog in Japan 日本初のセラピー犬・チロリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>セラピー犬, チロリの活躍を学習する。</li> <li>SVO (O=wh-節), SVO<sub>1</sub>O<sub>2</sub> (O<sub>2</sub>=that 節) の文を理解する。</li> <li>関係代名詞の文を理解する。</li> <li>時間的順序を伝える表現を学習する。</li> </ul>	
	《1 学期中間試験》			
	6	Lesson 3 How Good Is Your Memory? 記憶力アップの秘訣とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>記憶法について理解する。</li> <li>to-不定詞を理解する。</li> <li>関係代名詞の継続用法, 関係代名詞 what, 関係副詞を身に付ける。</li> <li>ものごとの手順やその具体例について述べる表現を学習する。</li> </ul>	
	7	Lesson 4 Space Elevator エレベーターで宇宙旅行! ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>記事の読み方や宇宙エレベーターの概要を理解する。</li> <li>仮定法過去, 関係副詞 where の継続用法を身に付け, 未来進行形を理解する。</li> <li>会話文特有の表現を学習する。</li> </ul>	
《1 学期期末試験》				
		<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベーシックノート</li> <li>英単語小テスト</li> </ul>	<p>【1 学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：80% (中間試験及び期末試験)</p> <p>平常点：20% (課題提出, 小テスト, 授業態度等)</p>	

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	Lesson 5 Diversity Brings New Products よりよい商品を作るために必要なこととは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品開発に多様な人間が直接関わることの重要性について日常的な事例から学習する。</li> <li>・動名詞の意味上の主語を理解する。</li> <li>・関係代名詞の継続用法の表現を使って、英文を作成する。</li> <li>・助動詞・不定詞の完了形を理解する。</li> <li>・比較・対照に使う表現を学習する。</li> </ul>	
	10	Lesson 6 Ueno Takahiro: The Dancer in Me 挑戦し続けるヒップホップ・ダンサー 上野隆博	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢を実現する心構えについて理解する。</li> <li>・SVOC (C=過去分詞) の表現を理解する。</li> <li>・仮定法過去完了を理解する。</li> <li>・受動態の分詞構文を理解する。</li> <li>・個人的な経験や感情を伝える表現を学習する。</li> </ul>	
	《2学期中間試験》			
	11	Lesson 7 The France Okaeshi Project フランスが日本にしてくれた「お返し」とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国を越えた交流・絆の大切さについて理解する。</li> <li>・仮定法のさまざまな表現 (as if / be to do) を身に付ける。</li> <li>・未知語を推測し, If 節に変わる表現を理解する。</li> <li>・順序立てて説明する表現を学習する。</li> </ul>	
	12	Lesson 8 What Is the True Meaning of <i>Mottainai</i> ? 本当のエコとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ活動の常識と真実を客観的に理解する。</li> <li>・進行形の受動態を学習する。</li> <li>・省略の表現を学習する。</li> <li>・形式目的語 it の表現 (to 不定詞 / that 節) を身に付ける。</li> <li>・現在 / 過去完了進行形を理解する。</li> <li>・主張と理由付けの表現を学習する。</li> </ul>	
	《2学期期末試験》			
		<b>【課題・提出物】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックノート</li> <li>・英単語小テスト</li> </ul>	<b>【2学期の評価方法】</b> 定期試験素点：80%（中間試験及び期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度等）	

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 9 Fair Play in Sports: What Is “Fair”? スポーツにおけるフェアプレーとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“フェア” について理解する。</li> <li>・同格 (of / that) ・倒置の表現を学習する。</li> <li>・複合関係代名詞の表現を理解する。</li> <li>・関係副詞 <b>when</b> の継続用法の表現を理解する。</li> <li>・状況・経過を説明する表現を学習する。</li> </ul>
	2	Lesson 10 Floating Education 船が学校に！？ 逆境を乗り越える ヒント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネガティブな状況をポジティブな状況に変えるアイデアについて理解する。</li> <li>・未来完了 (形) を理解する。</li> <li>・SVC (C=that 節) の表現を理解する。</li> <li>・無生物主語の文を理解する。</li> <li>・現状・問題点・解決策を客観的に述べる表現を学習する。</li> </ul>
	《3学期期末試験》		
		<b>【課題・提出物】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックノート</li> <li>・英単語小テスト</li> </ul>	<b>【3学期の評価方法】</b> 定期試験素点：80% (期末試験) 平常点：20% (課題提出, 小テスト, 授業態度等)
		<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 定期試験素点：80% (年間5回の定期試験素点の平均点) 平常点：20% (各学期の平常点の平均点)	

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元のトピックに興味・関心を持ち, 自ら学習に励み, 積極的に英語を用いようと学習する。	授業への参加姿勢 英単語テスト・定期試験
思考・判断	各単元のトピックに関して, 自ら考え, 自分の意見を持つことを育成する。	授業への参加姿勢
技能・表現	英語を用いて, 正しい文を書くことを身に付ける。 また, 英語を用いて, 自分の意見を伝えることを育成する。	授業への参加姿勢 英単語テスト・定期試験
知識・理解	授業内容を正確に理解し, 日本語訳に頼らず, 本文を理解する。また, 英単語の意味・綴りを正確に学習する。	英単語テスト 定期試験

#### 4. Listening Platform 2 (リスニング教材) の取り扱いについて

2年次のコミュニケーション英語Ⅱは、週に5時間あります。そのうちの1時間を用いて、Listeningの授業を行います。リスニングテストは、日本大学で実施している基礎学力到達度テストや、ベネッセ総合学力テストでも問われるものです。常に聞き続けることを習慣化させなければ、能力も落ちてしまうため、家庭学習時にも使用できるように、CDを購入しています。授業では、どういうところにポイントを置けばいいか、また、解答の決め手となるキーワードやキーセンテンス等を、分かりやすく伝えるようにします。授業では、多聴→解答→解説→多聴を繰り返し、リスニング能力が向上するように育成していきます。

#### 5. 学習サポート (事前・事後学習等について)

予習 (分かるところと分からないところの区別をする) → 授業 (分からないところの確認) ・ 復習 (分からないところが分かるようになるまで学習を継続する) のサイクルを大切にしましょう。予習で語彙・表現・文法事項を含めた文構造の理解に挑戦し、授業で正しい思考のプロセスを身に付けましょう。復習では、学習内容の定着を図りましょう。英作文にも挑戦し、リスニング、ライティング、リーディング、スピーキングと、英語4技能における全ての能力を身に付けましょう！！

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
英語表現 II	2	2	I コース

教科書名 Vision Quest Hope English Expression II (啓林館)

Revised BIG DIPPER English Expression I (数研出版)

副教材名 Vision Quest Hope English Expression II Hope NEW WORKBOOK (啓林館)

スクランブル英文法・語法 Basic 3rd Edition (旺文社)

デュアルスコープ総合英語 (数研出版)

### 1. 科目目標

学習のねらい

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson16 In a zoo 【動物】	<as+原級+as >, <比較級+than >を学習する。
	5	Lesson17 Our team 【部活動】	最上級や<twice as+原級+as >などの慣用表現を学習する。
		Lesson21 A Birthday Gift 【贈り物】	名詞節を導く接続詞や、副詞節を導く接続詞を学習する。
		《1学期中間試験》	
	6	Lesson 1 You have several traditional events. 伝統行事がいくつもあるのね。	Build-up 1 主語の決定／見えない主語の発見／主語の it を学習する。
	7	Lesson 2 How did your work experience go? 職業体験はどうだった？	Build-up 2 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語を学習する。
			Build-up 1 自動詞と他動詞／SVO／SVOO を学習する。
			Build-up 2 SVC／SVOC を学習する。
	《1学期期末試験》		
		【課題・提出物】 ・授業用ノート ・小テスト	【1学期の評価方法】 定期試験素点：80%（中間・期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	Lesson 3 Let me tell you a story. 話したいことがあるんだ。	Build-up 1 使役動詞／知覚動詞を学習する。  Build-up 2 <動詞+O+to do >を学習する。	
	10	Lesson 4 I want to work as an air traffic controller. 航空管制官として働きたいんだ。	Build-up 1 「～する」／「～している」を学習する。  Build-up 2 「～した」／「～していた」を学習する。	
	《2学期中間試験》			
	11	Lesson 5 I wish I could have such an experience again. そんな経験をもう一度したいわ。	Build-up 1 義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞を学習する。  Build-up 2 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったら」を学習する。	
	12	Lesson 6 This is a photo taken in Vancouver, Canada. これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。	Build-up 1 名詞を前から修飾する語句／名詞を後ろから修飾する①／②を学習する。  Build-up 2 関係代名詞／関係副詞を学習する。	
	《2学期期末試験》			
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業用ノート</li> <li>・ 小テスト</li> </ul>				
<p><b>【2学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験素点：80%（中間・期末試験）</p> <p>平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）</p>				

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 7 Are cell phones an essential part of our lives? 携帯電話は私たちの生活になくてはなら	Build-up 1 副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句を学習する。
	2	ないもの？	Build-up 2 副詞節①／②を学習する。
		Lesson 8 Which do you like better, cats or dogs? 犬と猫どっちが好き？	Build-up 1 原級／比較級を学習する。
			Build-up 2 最上級／最上級を意味する表現を学習する。
【課題・提出物】 ・授業用ノート ・小テスト			
【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（年間5回の定期試験素点の平均点） 平常点：20%（各学期の平常点の平均点）			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	英語に興味・関心を持ち，自ら進んで授業に参加し，積極的に自分の意見を英語で述べることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
思考・判断	論理的に物事を捉えることができる。	授業への参加姿勢
技能・表現	話すこと・書くことを中心とした活動を通して，正確に自分の考えを英語で伝えることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
知識・理解	正しい語順や語法を用いて英文を構成することができる。	小テスト 定期試験

### 4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

英語を正確に理解するためには，文法や語法について学ぶ必要がある。基礎の復習を大事にし，系統的に理解を深めてほしい。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	2	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育  
 副教材名 現代高等保健体育ノート

1. 教科目標

- |                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身につける。<br/>                 (2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br/>                 (3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	集団行動 ① 集合・隊形 ② 方向変換・列の増減 体づくり運動・体育理論 (通年を通して行う) (1) 体づくり運動 ① 体ほぐしの運動 ② 実生活に生かす運動の計画 (2) 体育理論 運動やスポーツの学び方	集団の一員として迅速に、かつ安全に行動する。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己の課題を理解する。 ・主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合う姿勢を育成する。 ・以下の6項目に関し、体育実技の実施と関連させながら学習する。 ①スポーツの技術と戦術 ②技能の上達過程と練習 ③効果的な動きのメカニズム ④技能と体力 ⑤体力トレーニング ⑥運動やスポーツでの安全の確保
	5	スポーツテスト(新体力テスト) 5月から9月の期間に行う 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ	自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を作る。
		ハンドボール ①オリエンテーション	・動画を視聴しながら歴史やルール・用具設備について理解する。

<p>6</p> <p>7</p>	<p>ルールや用具設備の説明</p> <p>②ボール慣れ</p> <p>パス回し</p> <p>シュート</p> <p>簡易ゲーム</p> <p>③役割や戦術をふまえたゲーム</p> <p>それぞれのポジションの役割</p> <p>ディフェンスの仕方</p> <p>④スキルテスト</p> <p>⑤知識理解を確認するテスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールの大きさに慣れスムーズなパスキャッチ・パス回しができるようにする。</li> <li>・ランニングシュート・ステップシュート・ジャンプシュートなどさまざまなシュートが打てるようになる。</li> <li>・ゴールキーパーやコートプレイヤーの役割を理解する。</li> <li>ゾーンディフェンスにおける攻防の仕方を理解する。</li> <li>・実態に応じたスキルテストを行う。</li> <li>・ルールや用具・施設設備に関するペーパーテストを行う。</li> </ul>
<p>【課題・提出物】なし</p>		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①実技試験（60%）</p> <p>ハンドボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテストによる評価。</li> <li>・ペーパーテストによる評価。</li> </ul> <p>スポーツテスト</p> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。</li> <li>・正しい服装で授業へ参加できている。</li> <li>・ルール等の確認テスト。</li> </ul>		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	ソフトボール ①ゲーム形式ノック ポジションに応じた守備 ②ティーを用いたバッティング 正しいフォームでボールをとらえる ③簡易ゲーム 試合方法やルールを工夫し、試合を行 う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なルールや各ポジションについて理解しゲームを進行することができる。</li> <li>・止まったボールをバットの芯でとらえ強い打球を打つことができる。</li> <li>・各種目のゲームを通して仲間と協力し合う楽しさや喜びを味わうことができる。</li> <li>・審判や運営に積極的にかわり、仲間と協力してゲームを進めることができる。</li> <li>・自分の持っている体力を知り日常の運動習慣を向上させる。</li> </ul>
	10	陸上競技(長距離) ① ジョギング ② 持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動と共に心肺機能向上を目的とする。</li> </ul>
	11	バドミントン ① グリップ・リストスタンド 用具の扱い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリップの握り方や、手首の使い方について理解する。</li> <li>・フォアハンド・バックハンドの正しいフォームを習得し、ラケットの中央でシャトルを捉える。</li> </ul>
	12	② ストローク	
【課題・提出物】なし			
<b>【第2学期の評価方法】</b> ①実技試験(60%) ソフトボール フォーム、スローイング、バッティングのスキルテストによる評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な守備体系やルールを理解している。</li> <li>・強い打球を打つことができる。</li> <li>・仲間と協力し公正なゲームができる。</li> </ul> ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。</li> <li>・正しい服装で授業へ参加できている。</li> <li>・ルール等の確認テスト。</li> </ul>			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	バドミントン	サービス時のルールを理解させロング、ショート
	2	③ サービス ④ ルールの理解 ⑤ ラリーの組み立て方	サービスを使い分けるようにする。 基本的なルールを理解する。 ハイクリアー、ドロップなどの球種を理解しゲームのなかの攻防に組み入れることができるようにする。
	【課題・提出物】なし		
<b>【第3学期の評価方法】</b> ①実技試験(60%)			

	<p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーブ、スマッシュ等の試験による評価。</li> <li>・ルールを理解し、試合を進めることができる。</li> </ul> <p>②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。</li> <li>・正しい服装で授業へ参加できている。</li> <li>・ルール等の確認テスト。</li> </ul>
<p>【年間の学習状況の評価方法】 学年末の評定は1学期・2学期・3学期の実技の平均(60%) 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況(40%) 以上を総合して評価する。</p>	

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>欠席が少なく、授業への参加態度が良好である。</p> <p>安全に配慮して学習に主体的に取り組もうとする。</p> <p>多様性を理解し仲間と協力することができる。</p> <p>健康・安全に配慮した服装ができる。</p>	<p>記録</p> <p>観察</p>
思考・判断・表現	<p>自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための計画を工夫している。</p> <p>課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。</p>	<p>観察</p>
技能	<p>各運動の特性に応じて勝敗を競い、攻防を展開できる技能を有する。</p> <p>各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけている。</p>	<p>実技テスト</p> <p>観察</p>
知識・理解	<p>選択した運動の技術(技)の名称や試合をすすめるためのルールを知っている。</p> <p>ミニゲームの審判を務めることができる。</p>	<p>確認テスト</p> <p>記録</p>

4 学習サポート(事前・事後学習等について)

<p>実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応する。</p>
-----------------------------------------------

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
保健	1	2	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育  
副教材名 現代高等保健体育ノート

1. 教科目標

健康・安全について理解を深めるようにし、自らの健康に興味を持ち、適切に管理していく能力を育てる。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	生涯を通じる健康 1. 思春期と健康	思春期における体の変化、思春期における心と健康問題について、基礎的な事項を理解する。
	5	2. 性意識と性行動の選択	思春期の心の成長と性意識の男女差について理解する。
	6	3. 結婚生活と健康	思春期の体の変化に伴う、責任ある行動とはどのような事か理解する。
	7	4. 妊娠・出産と健康	心の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康にするための必要な事項について理解する。
		5. 家族計画と人工妊娠中絶	受精、妊娠、出産の過程における健康課題、妊娠・出産期における生活上の注意や支援、出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。
		【1学期期末 7時間】	家族計画の意義、コンドームやピルを使用した適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について基礎的な事項を理解する。
<p>【課題・提出物】 ・板書ノート ・ワークノート ・レポート（一つの単元題材を指定のレポート用紙に作成して提出）</p>			
<p>【第1学期の評価方法】 定期試験の結果（80%） ・知識を問うばかりでなく、健康に関する思考・判断などを問う問題も出題する。 提出物の状況など平常点（20%） ・ノートやレポートなどの提出状況や完成度。 ・授業中の教材の準備や意欲、発言など総合的に評価。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学期	9	6. 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための事項を理解する。
		7. 高齢者のための社会的取り組み	・高齢者の健康課題とその社会的な支援について理解する。
		8. 保健制度とその活用	・地域の保健所・保健センターなどの保健行政の役割について理解する。
	10	9. 医療制度とその活用	・医療制度と医療保険のしくみ、医療機関の役割と医療サービスの活用について理解する。
		10. 医薬品と健康	・医薬品の種類と正しい使用法、医薬品の副作用と安全性を守る取り組みなどについて理解する。
		11. さまざまな健康活動や対策	・健康づくりのためのさまざまな活動、民間機関や国際機関などの保健活動について理解する。
	11	社会生活と健康	
		1. 大気汚染と健康	・大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の対策について理解する。
		2. 水質汚濁・土壌汚染と健康	・水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響について理解する。また、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解する。
	12	3. 健康被害の防止と環境対策	・環境汚染を防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理と健康問題について理解する。
【2学期期末 11時間】			
【課題・提出物】 ・板書ノート ・ワークノート ・レポート（一つの単元題材を指定のレポート用紙に作成して提出）			
【第2学期の評価方法】 定期試験の結果（80%） ・知識を問うばかりでなく、健康に関する思考・判断などを問う問題も出題する。 提出物の状況など平常点（20%） ・ノートやレポートなどの提出状況や完成度。 ・授業中の教材の準備や意欲、発言など総合的に評価。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学期	12	4. 環境衛生活動のしくみと働き	・ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備とし尿の処理について課題の解決になる事項を理解する。
		5. 食品衛生活動のしくみと働き	・食品の安全性、食品の安全にかかわる行政の役割、製造・加工者によるHACCPなどの衛生管理について理解する。
	1		
	2		

3	<p>6. 食品と環境の保全と私たち</p> <p>7. 働くことと健康</p> <p>8. 労働災害と健康</p> <p>9. 健康的な職業生活</p> <p style="text-align: center;"><b>【3学期期末 6時間】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費期限・賞味期限などの食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止などについて理解する。</li> <li>・働くことの意義や健康の関わり合い、働き方と健康の変化について理解する。</li> <li>・労働災害とその防止対策、労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解する。</li> <li>・職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用について、課題の解決役立つ事項を理解する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b> ・板書ノート ・ワークノート                  ・レポート（一つの単元題材を指定のレポート用紙に作成して提出）</p>		
<p><b>【第3学期の評価方法】</b>                  定期試験の結果（80%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を問うばかりでなく、健康に関する思考・判断などを問う問題も出題する</li> </ul> <p>提出物の状況など平常点（20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやレポートなどの提出状況や完成度</li> <li>・授業中の教材の準備や意欲、発言など総合的に評価</li> </ul>		
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b>                  100点法にて評価（試験・平常点で総合評価する）                  ≪詳細≫</p> <p>(1) 各学期評価【試験における素点の80%+平常点20%にて評価】各学期、年度末とも</p> <p>(2) 年度末評価【(1学期素点+2学期素点+3学期素点)÷3+年間平常点素点÷3にて評価】</p> <p>(3) 平常点の算出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対する評価・スモールテスト・DVD視聴、まとめレポートにて意欲・関心・態度、思考・判断、知識・理解の観点を総合評価する。</li> </ul>		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	自らの健康や健康に関する事項に興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	観察 ノートの提出状況
思考・判断	健康の課題の解決を目指し総合的に考え、判断することができる。	観察
技能・表現	授業で習得した実習の技能などを正しく理解し、それらを表現することができる。	定期テスト レポートや発表のための資料づくり
知識・理解	健康の保持増進するための課題解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	定期テスト 授業中の観察

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<p>質問に関しては、随時教科担当者が対応する。</p>
------------------------------

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
情報の科学	1	2 学年	I・IIコース

教科書名 **情報の科学**

副教材名 **情報モラル**

1. 科目目標

<p>① 現代社会の基盤を構成している情報にかかわる知識や技術を、科学的な見方・考え方で理解し習得する。また情報を利用する上で大切なモラルの向上を目指す。</p> <p>② 各種情報機器やインターネットの利用を通じて、科学的思考力や判断力などを養う。</p> <p>③ 情報通信ネットワークやメディアの特性・役割を理解し、情報を適切に活用できる能力を育む。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p>➤ ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PC・教室利用について</li> <li>● PCの個人設定</li> <li>● タイピング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの個人設定を行い、利用環境を整える。</li> <li>・タイピングソフトの利用の仕方を確認し、タイピングに取り組む。</li> </ul>
	5	<p>➤ 情報の表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文書作成ソフトの操作方法について</li> <li>● 課題の保存と提出の操作方法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成ソフトの操作方法を学び、表現の工夫を理解する。</li> <li>・課題の取得・保存・提出をできるようにする。</li> </ul>
	6	<p>➤ 2進数と10進数・16進数(全2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2進数とは何か</li> <li>● 10進数とは何か</li> <li>● 16進数とは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータにおける数値の取り扱いは、2進数・16進数で行われることを理解する。</li> <li>・2進数・16進数を用いた数の表現について理解する。</li> </ul>
		<p>➤ コンピュータの構成とインターネットの利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータを構成している要素について理解する</li> <li>● インターネットの利用の仕方について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータはハードウェアとソフトウェアから構成されていることを理解する。</li> <li>・コンピュータの五つの機能について理解する。</li> <li>・インターネット利用の注意点を理解する。</li> </ul>

	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 情報のデジタル化①</li> <li>● アナログとデジタル</li> <li>● 情報量を表す単位について</li> <li>● bit とは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログとデジタルの相違を理解する。</li> <li>・コンピュータで扱うデータの最小単位の bit を理解する。</li> <li>・情報量の単位の変換を理解する。</li> </ul>
		【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント, 授業ノート 実技演習課題	
		【1学期の評価方法】	
		① 学期末試験 50% 1学期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに、タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20%とする。課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 情報のデジタル化②</li> <li>● 音声のデジタル化の仕組み</li> <li>● 音楽 CD の記憶の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を 2 進数であらわされる数値データに変換する過程を理解する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 情報のデジタル化③</li> <li>● PC での画面表示と解像度</li> <li>● 光の 3 原色</li> <li>● 画像の諧調と情報量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータにおける画像の表現方法を理解する。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 情報の圧縮</li> <li>● 情報の圧縮の考え方について</li> <li>● 音・画像・動画の圧縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの様々な圧縮形式について理解する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 個人情報と知的財産権(全4回)</li> <li>● 個人情報の取り扱いについて</li> <li>● 知的財産権について</li> <li>● プレゼンテーションソフトを用いたグループ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会に関わる様々な法律の名称とその役割を学び、情報を保護する必要性や、個人が担う責任について理解する。</li> <li>・プレゼンテーションソフトの操作方法を学ぶ。</li> <li>・プレゼンテーションを通し、情報の発信の仕方を学ぶ。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ HTML 文の書き方①</li> <li>● Web ページとは何か</li> <li>● Web ページ作成の準備</li> <li>● 基本的なタグ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web ページが HTML という言語によって記述されていることを学ぶ。</li> <li>・実際に簡単な自己紹介の Web ページを作成することによって、HTML の基本的なタグを理解する。</li> </ul>

12	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ HTML 文の書き方②</li> <li>● 様々な HTML タグについて</li> <li>● カラーコード</li> </ul> 2 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HTML の様々なタグを学ぶ。</li> </ul>
【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題		
【2 学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 2 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20%とする。課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
3 学期	1 ➤ HTML を用いたグループによる情報発信(全5回) 2 3 ● グループ演習 学年末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より高度な HTML のタグを学ぶ。</li> <li>・ 情報を発信することの責任について理解する。</li> <li>・ 他者と協力して情報発信をすることを学ぶ。</li> </ul>
【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題		
【3 学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。 ② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20%とする。課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 1 学期末と 2 学期末と 3 学期末の成績を統合して評価する。		

3. 評価の観点，内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	情報に関わる内容に興味を持ち，進んでタイピングや HTML の実習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピングテスト</li> <li>・ 授業時の取り組み</li> </ul>
思考・判断	モラルやセキュリティに興味を持ち，情報を正しく判断できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技演習課題</li> </ul>
技能・表現	ブラインドタッチなどの技能を修得し，すばやい入力ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技演習課題</li> </ul>
知識・理解	情報に関する知識や用語の意味を知り，適切に利用できる。また OS やアプリケーションソフトの使い方を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業ノート</li> <li>・ 実技演習課題</li> </ul>

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ，ブラインドタッチに挑戦しましょう。</li> <li>・ 実技については，毎時間課題を課します。時間ごとの内容を確認するのもしっかり覚えましょう。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
家庭基礎	2	2学年	I・IIコース

教科書名 未来をつくる 新高校家庭基礎

副教材名 生活学 N a v i 資料+成分表

未来をつくる 新高校家庭基礎 授業ノート

### 1. 科目目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活上の充実を図る能力と実践的な態度を身につける。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	ガイダンス・食物アレルギーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の意義や内容、持ち物、評価の方法などを理解する。食物アレルギーについて把握する。</li> <li>・自分自身について自己理解を深める。</li> <li>・ライフステージについて理解する。</li> <li>・個人の発達段階の特徴と発達課題を知り、青年期の生き方を考える。</li> <li>・青年期は自立した生活が営めるよう、自己実現に向けて生きていくための準備をする時期であることを理解する。</li> <li>・自己の意思決定に基づき、責任をもって行動し、男女が協力して家庭を築くことの重要性について理解する。</li> </ul>
		第1章 人の一生と青年期の課題をみつめよう	
		1 人は生涯を通して発達し続ける	
		2 青年期を生きる	
		3 自立の達成をめざそう	
	5	4 人生は意思決定を重ねてつくられる	
		5 ライフスタイルについて考えよう	
		第2章 家族・家庭と社会について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の家族の特徴について理解し、家族と社会とのかかわりについて関心を持つ。</li> <li>・家族や家庭の機能について理解する。</li> <li>・家族に関する法律について理解する。</li> <li>・男女共同参画社会の実現をめざし、男女がともに家庭生活の責任を果たし、人間らしい生き方をするための課題を考える。</li> <li>・栄養価計算の方法を学ぶ。</li> </ul>
		1 家族について考える	
		2 家族・家庭の機能を知る	
3 家族・家庭の法律を知る			
4 家庭と社会の関係について考える			
		○調理実習の説明・栄養価計算	

	<p>●第1回 調理実習 和食の献立 「ご飯、鮭の鍋照り焼き、青菜のごま和え、豆腐とわかめのすまし汁」</p> <p>6 第3章 子どもと子育てについて知ろう 1 子どもと子育て ■DVD 視聴 「生命の誕生2」 2 子どもの誕生 ○妊娠疑似体験</p> <p>3 乳幼児期の体の成長・発達 4 乳幼児期の心の成長・発達 5 子どもの生活と保育</p> <p>○育児体験</p> <p>6 子どもの生活と遊び 7 子どもの健康と安全 8 子育てを支援する 9 子どもの人権と福祉</p> <p>第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう 1 高齢期という時期 ■DVD 視聴 「高齢者の特徴」 7 2 高齢期の生活について知る ○高齢者疑似体験 3 高齢期の生活を支える高齢者福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理に関する基礎的な技術を身につける。</li> <li>・だしの取り方を学ぶ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人間形成のために必要な親の役割と責任を学ぶ。</li> <li>・胎児の成長・発達の過程や母体に起こるさまざまな変化を知り、母体の健康管理の必要性と、周りの人が配慮すべきことを理解する。</li> <li>・妊娠疑似体験を通して、妊娠中の女性の大変さを知り、パートナーとして助け合うことの大切さに気づく。</li> <li>・乳幼児期の体の発達と特徴について学ぶ。</li> <li>・乳幼児期の心の発達と特徴について学ぶ。</li> <li>・子どもにとって生活習慣を身につけることの重要性を知り、家族の果たす役割を理解する。</li> <li>・新生児の抱き方、ミルクの与え方、げっぷのさせ方、オムツの取り替え方を知る。</li> <li>・遊びの意義を理解し、児童文化に関心を持つ。</li> <li>・子どもの病気と健康管理方法を知る。事故を防ぐ方法について理解する。</li> <li>・子育て支援のニーズと社会的重要性を理解する。集団保育の意義と役割を知る。</li> <li>・子どもの権利条約や児童福祉法の理念を知り、子どもも一人の人間として人権を持っていることを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期とはどのような時期か知り、関心を高める。</li> <li>・加齢に伴う心身の変化や生活の課題について理解する。また経済生活について知る。</li> <li>・高齢者福祉の理念を知り、高齢者にとって豊かな生活とは何か考える。高齢者福祉の制度やサービスを知る。</li> </ul>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>4 介護保険制度と介護への理解</p> <p>5 高齢社会の現状と課題</p> <p>■DVD 視聴 「高齢者の生活とサポート」 第11章 生活をデザインしよう 2 よりよい生活をつくろう</p> <p>■DVD 視聴 「ホームプロジェクト」 ☆夏休み課題「ホームプロジェクト」</p> <p>1学期期末試験(15時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の概要を理解する。</li> <li>・家庭生活を支える社会保障制度について理解する。</li> <li>・高齢化の現状と高齢者を取り巻く社会環境の課題を考える。また地域が果たす役割を知る。</li> <li>・生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探求・創造し、解決方法を考え計画を立てて実践する。</li> <li>・ホームプロジェクトの課題を見つけ、夏休みに調査・研究を行いレポートにまとめる。</li> </ul>	
<p>【課題・提出物】 ・学習ノート、確認テストなど</p>			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績→知識・理解の確認とともに、調理に関する基礎的知識も出題する。</p> <p>②学習態度等の平常点→実習課題等の提出状況、授業態度を評価する。</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>第5章 共生社会をつくろう</p> <p>1 ともに生き、ともに自立する</p> <p>2 生活のセーフティネットワーク</p> <p>3 社会のセーフティネットワーク</p> <p>○ホームプロジェクト発表会</p> <p>○調理実習の説明・栄養価計算</p> <p>●第2回 調理実習 洋食の献立 「クラムチャウダー・ゴボウサラダ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域における共生、協働、福祉が果たす役割について理解し、地域活動やボランティアに関心を持つ</li> <li>・生活の安定と安心を自ら創造する態度を養う。</li> <li>・社会保障制度の概要について理解する。共生社会の理念について理解する。</li> <li>・発表会を通して、自分のホームプロジェクトの内容を反省・評価する。また他者のホームプロジェクトの発表を聞き、内容を評価し、参考にする。</li> <li>・野菜の切り方、扱い方を学ぶ。</li> </ul>
	10	<p>第7章 生涯の健康を見通した食生活をつくろう</p> <p>1 なぜ食べるのか</p> <p>2 私たちは何を食べてきたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の食生活の現状から、自分自身の食生活の問題点について考え、健康への配慮が必要であることを知る。また、日本の食卓の課題について考える。</li> </ul>

	<p>●第3回 調理実習 中華の献立 「餃子・ベーコンとシイタケのスープ」</p> <p>3 炭水化物の働きと食品 4 脂質の働きと食品 5 たんぱく質の働きと食品 6 無機質・ビタミンの働きと食品 7 調味料・香辛料・嗜好品・加工食品</p> <p>8 食品の選択と取り扱い</p> <p>9 食品の安全・安心を考える</p> <p>10 何をどれだけ食べればよいか</p> <p>11 献立と調理</p> <p>11 第8章 健康で快適な衣生活をつくろう</p> <p>1 なぜ着るのか 2 自分らしい装いを楽しむ 3 着ごちのよい被服 4 衣生活の計画を立てる</p> <p>■DVD 視聴 「衣服と装いの科学」</p> <p>5 気持ちよく着る工夫をする</p> <p>12 2学期期末試験(17時間)</p>	<p>・餃子の包み方を学ぶ。</p> <p>・栄養素の種類とはたらきやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。</p> <p>・調味料、香辛料の特徴と活用方法を知る。 ・嗜好食品の利用目的を知る。加工食品を利用するときの注意点を知る。 ・食品の識別や購入できる能力を養う。また、食品の適切な保存と食中毒の発生状況や原因を知り、予防方法を考える。 ・日本の食料自給率を知り、輸入食品へ依存したときに起こる問題について理解する。 ・食事摂取基準、食品群の種類を理解し、生活の中での利用方法を考える。 ・調理の目的を知り、安全で衛生的な調理が出来る方法と技術を学ぶ。</p> <p>・衣服の機能と意義を知り、安全に着装するための工夫を考える。 ・自分の個性を表現する魅力的なファッションについて考える。 ・衣服材料の種類・性能や構造と加工法を知る。 ・既製衣料品の表示内容を理解する。</p> <p>・洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。洗濯以外の手入れ方法を知る。</p>
<p>【課題・提出物】</p> <p>・学習ノート、確認テスト、調理実習の記録、ホームプロジェクトの記録など</p>		
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>①定期試験の成績→知識・理解の確認をする。 ②学習態度等の平常点→実習課題等の提出状況、授業態度を評価する。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	第9章 安全で快適な住生活をつくろう 1 なぜ住まうのか  2 住む人の生活に合った住空間とは ■DVD 視聴 「見つけよう、マイルーム」  3 健康な住生活  4 安全な住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの機能を考え、住まいが気候風土や生活と密接にかかわっていることを理解する。</li> <li>・生活行為と住空間のかかわりや、住空間の違いによって住まいの居住性が異なることを理解する。平面図の基礎的知識を学び、住まい方を工夫する。</li> <li>・快適な室内環境確保のための知識を身につけ、健康で快適な住まい方の工夫を考える。</li> <li>・自然災害や人災など様々なケースに応じた防災対策について知り、自分の生活にいかせるようにする。安全な住環境をつくるために、地域が果たす役割を理解する。</li> </ul>
	2	第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう 1 環境と調和のとれた生活  2 持続可能な社会を実現する  第6章 経済生活を設計しよう 1 現代の消費生活  2 消費者問題について知る  3 多様化する消費者問題 ■DVD 視聴 「消費生活とトラブル防止」 4 消費者を救済する制度  5 消費者としてどう行動するか  7 家計と経済のしくみとのかかわり 3 学年末試験(14時間)【年間46時間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活が環境へ負荷を及ぼしていることを理解する。</li> <li>・資源を循環させる必要性とその方法を知る。</li> <li>・持続可能な社会と個人のライフスタイルを理解させ、実践に結びつけられるようにする。持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度を理解する。</li> <li>・消費生活は多様化・複雑化していることを理解する。販売方法、支払方法の種類と特徴を知る。消費者信用をめぐるトラブルの特徴としくみを知る。</li> <li>・消費者問題の現状を理解し、その発生原因を考える。売買契約について理解する。</li> <li>・問題商法の現状を知り、被害者にならないようにする方法を考える。</li> <li>・売買契約のトラブルや消費者問題から消費者を救済する法律や制度について理解する。</li> <li>・消費者の権利が確立された歴史的動向を知り、消費者の権利と責任のあり方について考える。</li> <li>・毎日の生活を営むために必要な費用を知る。家計を中心とした経済の循環を理解する。</li> </ul>

【課題・提出物】	・学習ノート、確認テストなど
【第3学期の評価方法】	①定期試験の成績→知識・理解の確認をする。 ②学習態度等の平常点→実習課題等の提出状況、授業態度を評価する。
【年間の学習状況の評価方法】	・学年末の成績は、各学期の総合成績を総合して評価する。

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	・家族や家庭生活について関心を持ち、意欲的に授業に参加している。 ・家庭生活向上のために意欲的に取り組む姿勢がある。 ・学んだことを生かそうとする実践的な態度を身につけている。	・授業態度 ・調理実習や疑似体験等への取り組み ・学習ノートやワークシートなどへの取り組み ・ホームプロジェクトでの実践
思考・判断	・家庭生活の中から課題を見つけ、その解決のため思考を深めて、工夫したり創造したり、自分の考えをまとめ、適切に判断することが出来る。	・定期試験 ・ワークシートの考察内容 ・グループワークへの取り組み
技能・表現	・衣食住に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	・ホームプロジェクトの内容、発表態度 ・調理実習の様子
知識・理解	・家庭生活や地域社会の役割を理解している。 ・高齢者や子どもに対して正しい理解を持つことができる。 ・衣食住に関する基本的な知識を身につけている。	・定期試験 ・確認テスト ・豆テスト

### 4. 学習サポート（事前・事後学習について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家族や家庭生活について関心を持ち、その中にある問題点を把握し、その解決策を考える思考力を身につけましょう。</li> <li>・家庭科の学習を実際の生活と結びつけ、実践的・体験的な学習活動やグループ活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>・衣食住に関する知識や技術を身に付け、ホームプロジェクトを充実させましょう。</li> </ul> <p>&lt;定期試験に向けて&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、授業の内容をしっかりと復習する。(学習ノートやプリント等を見直すこと)</li> <li>2、提出物の確認をすること。</li> </ol>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
総合探究	1	2年生	全

教科書名 なし ※プリント学習  
副教材名 なし \_\_\_\_\_

1. 科目目標

Cooperate as a group in order to perform various communication tasks leading to real language acquisition and use.

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Task 1 Likes, Likes Not	Discussing likes and dislikes by thinking of questions (as a group) to ask classmates
	5	Task 2 You and I	Finding similarities and differences with classmates
	6		Reporting these findings to group members
	7	GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test
【課題・提出物】 N/A			
【1学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Task 3 Debate	Presenting and defending views on a topic according to debate style rules
	10	Task 4 Plutork	Choosing a suitable group of people to start a colony on a distant planet Presenting and defending your choices
		Task 5 Our Island in the Sun	Designing the layout of an island and relaying the design to others
	11	Task 6 A Taste of Home	Brainstorming, discussing and deciding the best souvenirs to take to an overseas host family

	12	GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test
	【課題・提出物】 N/A		
	【2学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Task 7 Survival	Brainstorming, discussing and deciding what items to take for survival on a desert island
	2	Task 8 TV Game Show	Making questions for a TV quiz show Playing the created quiz game shows with other groups
	【課題・提出物】 N/A		
	【3学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher		
【年間の学習状況の評価方法】 Observation by homeroom teacher			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	Trying one's best to use English in interactions	Observation by homeroom teacher
思考・判断	Sharing thoughts in discussion groups and pair work	Observation by homeroom teacher
技能・表現	Smoothness in presentations and discussions	Observation by homeroom teacher
知識・理解	Sharing and listening to others during presentations and discussions	Observation by homeroom teacher

### 4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

Try to speak only in English.  
 Say at least a few things in English every week.  
 Use a dictionary every class.  
 Try you best!

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
世界史B	3	2学年	I コース文系

教科書名 詳説 世界史B (山川出版)

副教材名 世界史B用語集 新詳世界史図説

1. 科目目標

- |                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解する。</li> <li>② 世界の歴史における文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察する。</li> <li>③ 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1) ゲルマン人の大移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパにおける中世の幕開けを理解する。</li> <li>・フランク王国が台頭した政治的・宗教的理由を理解する。</li> <li>・西ヨーロッパ中世世界の様子を理解する。</li> <li>・東ヨーロッパ世界の様子を理解する。</li> </ul>
		(2) フランク王国の発展と教会の成長	
		(3) カール大帝とフランク王国の分裂	
		(4) 外部勢力の侵入とヨーロッパ世界	
		(5) 封建社会の成立と教会の権威	
		(6) ビザンツ帝国の盛衰と社会・文化	
		(7) スラヴ人と周辺諸民族の自立	
	5	(8) 十字軍とその影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十字軍が西ヨーロッパ中世世界変貌の大きな契機になったことを理解する。</li> </ul>
		(9) 商業の発展と中世都市	
		(10) 封建社会と教皇権の衰退	
	1 学期中間試験		
	6	(11) イギリスとフランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世西欧における国家建設と様子について、他国との関係を含めて理解する。</li> <li>・西欧諸国の形成と各国の歴史的特色、西欧の中世文化を含めて理解する。</li> <li>・内陸アジア・東アジア世界の展開を整理し、モンゴル帝国出現の背景を理解する。</li> <li>・明の成立過程を整理し、東アジアの周縁国家との関係を理解する。</li> </ul>
(12) 百年戦争とバラ戦争			
(13) 西欧諸国の動向			
(14) 西ヨーロッパの中世文化			
(15) トルコ化とイスラーム化の進展			
(16) 東アジアの勢力交替			
(17) 宋の統治			
(18) 宋の社会経済と文化			
(19) モンゴル帝国の形成			
(20) 元の東アジア支配			
(21) モンゴル時代の東西交流と解体			

	1 学期期末試験	
	<b>【課題・提出物】</b> 授業ノート・プリント、必要に応じて課題を求める。	
	<b>【第1学期の評価方法】</b> 定期試験を80%、平常点（授業態度と課題・提出物）を20%として評価する。	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	成果テスト	
		(1) 東アジアと明初の政治	・ 明の滅亡と清の建国について理解する。
		(2) 明朝の朝貢世界と朝貢体制の動揺	
		(3) 明後期の社会と文化	・ 清の成立過程を整理し、東アジアの周縁国家との関係を理解する。
		(4) 16～17世紀の東アジアの状況	
		(5) 清朝の統治	
		(6) 清朝支配の拡大と東アジア	
		(7) 清代の社会と文化	
		(8) ティムール朝とサファヴィー朝	・ 近代イスラーム諸王朝が、独自の文明を繁栄させたことを理解する。
		(9) オスマン帝国の成立と発展	
		(10) ムガル帝国の興隆と交易	
		10	(11) 大航海時代
	(12) アメリカ大陸の征服		
	2学期中間試験		
	(13) ルネサンスの本質		・ ルネサンスの背景とその性質を理解する。
	(14) ルネサンス文芸と美術		
	(15) 宗教改革の始まり		・ 宗教改革が、社会改革運動として政治的変革に大きな影響をおよぼしたことを理解する。
	(16) 宗教改革の広がりと対抗宗教改革		
	(17) 主権国家と主権国家体制		
	(18) イタリア戦争とスペインの全盛期		・ 西欧諸国の繁栄と動きを、海外進出と宗教改革の二つの面から理解する。
	(19) オランダ独立とイギリス海外進出		
	11	(20) フランスの宗教内乱と絶対王政	
		(21) 17世紀の危機と三十年戦争	・ 具体的な事例とともに、主権国家・重商主義の概念を理解する。
		(22) 重商主義政策とルイ14世の時代	
		(23) イギリス革命	
		(24) イギリス議会政治の確立	・ 農業社会から工業社会への急速な移行が、現代社会の原点であることを理解する。
(25) プロイセンとオーストリア			
12	(26) 北方戦争とロシア		

		(27) アジア市場の攻防 (28) アメリカにおける植民地争奪 (29) 17・18 世紀ヨーロッパ社会と文化  2 学期期末試験	・海外進出を果たすヨーロッパ諸国の様子を整理し、理解する。
	<b>【課題・提出物】</b> 授業ノート・プリント、必要に応じて課した課題と夏課題の提出を求める。		
	<b>【第 2 学期の評価方法】</b> 定期試験を 80%、平常点(授業態度と課題・提出物、成果テストの結果)を 20%として評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	(1) 世界最初の産業革命 (2) 資本主義体制の確立 (3) アメリカ独立革命 (4) 合衆国憲法の制定 (5) フランス革命と立憲君主政の成立 (6) フランス革命 (戦争と共和政) (7) フランス革命の終了	・産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命が社会に与えた影響を理解する。
	2	(8) 皇帝ナポレオン  (9) ウイーン体制と七月革命 (10) イギリスの動きとギリシアの独立 (11) 社会主義思想の成立と 1848 年革命 (12) クリミア戦争とロシアの改革 (13) イギリスとフランスの動き (14) イタリアの統一 (15) ドイツの統一 (16) ドイツ帝国成立とビスマルク外交 (17) 北欧諸国の動向と国際的諸運動  3 学期期末試験	・ナポレオンのヨーロッパ支配を理解する。  ・ウイーン体制下のヨーロッパの様子を理解する。  ・ウイーン体制後の各国の動きを理解する。  ・ウイーン体制後に進展した近代市民社会の形成やナショナリズムの台頭を理解する。
	<b>【課題・提出物】</b> 授業ノート・プリント、必要に応じて課題を求める。		
	<b>【第 3 学期の評価方法】</b> 定期試験を 80%、平常点 (授業態度と課題・提出物) を 20%として評価する。		
<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 1 学期・2 学期・3 学期の評価を総合的に評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	世界の歴史や現在の世界に対し興味・感心を持ち、自ら進んで授業に参加し、積極的に自分の考えを明らかにすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加の状況</li> <li>・授業に対する姿勢</li> <li>・授業ノートの様子</li> </ul>
思考・判断	公正な立場から世界史上の出来事について考え、先入観にとらわれず判断できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での発言内容</li> <li>・授業での意見表明</li> </ul>
技能・表現	得た知識をもとに、世界の歴史的出来事を解き明かし、自分の意見を表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での発言内容</li> <li>・授業での意見表明</li> </ul>
知識・理解	世界における知識を正確に獲得し、世界の歴史や現在の世界について理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での発言内容</li> <li>・試験での得点状況</li> </ul>

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・学習方法の相談、学習方法の指導。
- ・授業内容に関する質問対応。
- ・自学プリントの作成と配布。
- ・確認プリントの配布または確認テストの実施。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
日本史B	4	2学年 I コース文系	I コース文系

教科書名 詳説日本史B (山川出版社)

副教材名 最新日本史図表 (第一学習社)

一問一答日本史 (山川出版社)

### 1. 科目目標

○我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察し、文化や伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

○様々な歴史資料を通して、歴史について自ら主体的に学ぶ態度や方法を習得し、歴史事象について公正に判断する思考力や理解力を身に付ける。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人類学的観点から日本列島の生い立ちを理解する。</li> <li>・ 原始社会の人々の生活の変化を理解する。</li> <li>・ 農耕社会で何が変わっていったのかを考察する。</li> <li>・ 日本の小国分立を中国の文献で理解する。</li> <li>・ 古墳文化の変遷と氏姓制度について理解する。</li> </ul>
	5	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厩戸王が新政を必要とした理由について考察する。</li> <li>・ 大化改新の理由を国内外情勢と関連づけ理解する。</li> <li>・ 白鳳文化の特色を律令体制と関連づけ理解する。</li> </ul>
		1 学期中間試験	
	6	3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農民生活の困窮について理解する。</li> <li>・ 奈良時代における律令体制展開を理解する。</li> <li>・ 天平文化が仏教中心だということを理解する。</li> <li>・ 平安京遷都が律令体制立直しであることを理解する。</li> </ul>
	7	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弘仁貞観文化が密教的文化であった事を理解する。</li> <li>・ 摂関政治の成立過程を認識する。</li> <li>・ 国風文化が日本独自の文化であることを理解する。</li> <li>・ 荘園制度の特徴を理解する。</li> </ul>
		1 学期期末試験	
			<b>【課題・提出物】</b>
		①連休明け最初の授業：必修課題(遺跡貝塚調べ)＋遺跡貝塚名テスト	

②単元テスト(筆記式) ③一問一答日本史の予習・ノート提出				
<b>【第1学期の評価方法】</b> 日本史Bの素点平均(1学期中間・期末)×0.8+平常点(小テスト・課題・授業態度等)×0.2=評点				
	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	7	第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院政政治や平氏政権の成立過程を認識する。</li> <li>・保元・平治の乱から史的意義を考察する。</li> <li>・鎌倉幕府の成立過程を認識する。</li> <li>・執権政治と武家社会の特色について理解する。</li> </ul>	
	9	4. 蒙古襲来と幕府の衰退  5. 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元寇と社会への影響を考察する。</li> <li>・鎌倉文化の特色について理解する。</li> </ul>	
	10	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室町幕府の成立過程を認識する。</li> <li>・日明貿易の特徴を理解する。</li> <li>・応仁の乱で幕府権威が失墜し下剋上の世になった事を理解する。</li> </ul>	
		2 学期中間試験		
	11	2. 幕府の衰退と庶民の台頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発達及び室町文化について理解する。</li> <li>・東山文化がもたらした日本人の精神生活への影響を認識する。</li> </ul>	
		3. 室町文化		
	12	4. 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下剋上と惣の発展を背景に戦国時代が始まった事を理解する。</li> </ul>	
		第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国大名の領国支配について認識する。</li> <li>・織田信長の政治と人柄及び豊臣秀吉の全国統一過程を理解する。</li> </ul>	
	2 学期期末試験			
	<b>【課題・提出物】</b> ①探究型課題(博物館・歴史資料館見学など) ②夏休み明け成果テスト(鎌倉時代まで) ③単元テスト(筆記式) ④一問一答日本史の予習・ノート提出			
	<b>【第2学期の評価方法】</b> 日本史Bの素点平均(2学期中間・期末)×0.8+平常点(小テスト・課題・授業態度等)×0.2=評点			
		月	学習内容	学習のねらい
3	1	第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桃山文化の特色について理解する。</li> </ul>	
		2. 桃山文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府の成立過程と職制を理解する。</li> </ul>	

<p>学期</p>	<p>2</p> <p>3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造</p> <p>第7章 幕藩体制の展開</p> <p>1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化</p> <p>3 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府が長く権威を保てた理由を考察する。</li> <li>・幕府が鎖国に踏み切った原因を明らかにする。</li> <li>・近世社会の村と百姓のしくみについて理解する。</li> <li>・文治政治への転換原因を明らかにする。</li> <li>・農工具の発達で農業生産物が増加した事を理解する。</li> <li>・町人文化，幕府の教学としての儒学，特に朱子学について理解する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>①探究型課題(自分の家紋を調べよう)</p> <p>②単元テスト(筆記式)</p> <p>③一問一答日本史の予習・ノート提出</p>		
<p><b>【第3学期の評価方法】</b></p> <p>日本史Bの素点平均(3 学期期末)×0.8+平常点(小テスト・課題・授業態度等)×0.2=評点</p>		
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>1. 相対評価を加味した絶対評価で行う</p> <p>2. 評価の観点に基づき、授業を真剣に受けることを前提とした上で、具体的な評価は次のものを対象とする。</p> <p>(1) 定期試験 (80%以内)</p> <p>①テストは1 学期中間・期末，2 学期中間・期末，3 学期期末の計各5 回，いずれも記述式100 点満点とする (5 回×100 点)</p> <p>②テストについては，内容等についての質問は一切受け付けない。使用した教材(教科書・用語集・図表)すべてとする。</p> <p>① 一問一答日本史等を中心に，進研学力テスト，大学入学共通テスト，基礎学力到達度テストの傾向を意識し出題する。</p> <p>(2) 平常点(20%以内) ※提出物の期限を守れなかった場合は，減点の対象とする。</p> <p>①単元テスト ②成果テスト(9 月=2 学期期末試験の平常点に10%加味)</p> <p>③探究型課題(連休・夏休み・冬休み)</p> <p>④学習への取り組み状況(課題プリント・ノート・レポート)や授業態度</p> <p>〈課題レポートの提出方法〉 400 字詰め原稿用紙、またはA4 版レポート用紙で提出(手書き)する。</p> <p>○表紙・貼付部分・参考文献等を含めずに1000 字以上とする。</p> <p>○表紙には，課題名・クラス・出席番号・氏名を記入する。</p> <p>○引用文(図書・インターネット等)は，参考文献として著者・書名・出版社・刊行年を明記する。</p>		

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	目的意識を持って学習に取り組む。歴史的事項に興味を持ち、自ら学び、調べ、考える態度を持っているか。	授業態度 課題への取り組み
思考・判断	事物・現象を科学的に把握しようとする。歴史的思考力を身につけ、常に疑問を持ち取り組んでいるか。	授業態度 課題への取り組み
技能・表現	科学的に推論し、的確に問題を解決する。自ら調べたこと、気がついたことなどを自分なりに加えたノート・プリント作成の工夫ができるか。	単元テスト 定期考査
知識・理解	原理・法則を理解し、基礎的な知識を身につける。基礎となる歴史的事項を理解し、広い視野から流れをつかむことができるか。	単元テスト 定期考査

### 4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

- 歴史は、過去の出来事にすぎないと思われるかもしれませんが、他教科とも関連し、世界で起こっている様々な出来事と密接に結び付いている。新聞やニュースを見たり聞いたりして興味や関心を広げてみよう。
- 授業は教科書・副教材を参考に、板書による講義形式が中心です。授業中、ノートは必ずとる。
- 授業には必ず副教材を持参する。
- 授業の復習をしよう。歴史の学力向上には家庭での復習が不可欠である。帰宅後その日に学んだことについて確認をしよう。
- 歴史の学習は興味を持つことから始まる。興味を持つためにも教科書や副教材にはこまめに触れる。
- 興味を持ったら、「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」「なぜ」「その結果」と考えを進め、論理的に考えよう。
- 知識の積み重ねなくして思考することはできない。「歴史用語」等覚えるべきことは一つでも多く覚えよう。
- 日本史の学力を向上させるためには「史料を読みこなす力」が必要である。そのためには「古文」の学習にも力を入れよう。
- わからないことは、積極的に質問しよう。わからないままにしないことが、学力向上の秘訣である。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ 数学B	5単位 数Ⅱ(3), 数B(2)	2年	Iコース文系

教科書名 新編 数学Ⅱ 新編 数学B (数研出版)  
 副教材名 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B

1. 科目目標

- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・答え（結果）だけでなく、解く過程である「解答」を通して言語表現力を養う。
- ・発展的・研究的内容にも取り組み、自ら気づき、学びとる姿勢（探究型学習）も身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい 学習チェックリスト
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [4] <b>基礎学力到達度テスト(4/20)</b>	
	5	第2章 複素数と方程式 [10] 第1節 複素数と2次方程式の解(7) 複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係 <b>実力診断テスト(5/9)</b> 第2節 高次方程式(3) 剰余の定理と因数定理 高次方程式 第3章 図形と方程式 [13] 第1節 点と直線(7) 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係 <b>1学期中間試験(5/23~26)</b> <b>1学期中間まで【19】</b>	□複素数の四則計算ができる。 □負の数の平方根を含む式の計算ができる。 □解が虚数となる2次方程式が解ける。 □判別式を利用して、解の判別ができる。 □解と係数の関係を用いて、対称式の値を求めることができる。 □2次方程式の解を利用して、複素数の範囲で2次式を因数分解できる。 □2数を解とする2次方程式をつくることできる。 □剰余の定理を利用して、余りが求めることができる。 □因数定理を利用して、因数分解や高次方程式を解くことができる。 □内分点・外分点の座標や2点間の距離を求めることができる。 □直線の方程式を求めることができる。 □2直線の平行・垂直条件が利用できる。

<p>6</p>	<p>第3節 軌跡と領域(4) 軌跡と方程式 不等式を表す領域</p> <p>第2節 円(6) 円の方程式 円と直線 2つの円</p> <p>第4章 三角関数 [16] 第1節 三角関数(10) 角の拡張 三角関数 (三角関数のグラフ) 三角関数の性質 三角関数を含む方程式、不等式</p>	<p><input type="checkbox"/>点と直線の距離を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>線分の midpoint の軌跡を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>不等式の表す領域を図示することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>連立不等式の表す領域を図示できる。</p> <p><input type="checkbox"/>円の中心と半径を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>ある条件から円の方程式を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>一般形から標準形に変形することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>円と直線の共有点の座標が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離の公式を用いて求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>円外からの接線の方程式を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>2つの円の位置関係を調べることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>度数法⇔弧度法の表記変換ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>角度が弧度法表記の三角比の値を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>相互関係を利用した問題を解くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>対称式を利用した問題を解くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>平行移動や振幅を、関数から考察できる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角関数の性質から三角比の値を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角方程式・不等式を解くことができる。</p>
<p>7</p>	<p>1 学期期末試験(6/28~7/1)</p> <p>1 学期期末まで <b>【20】</b></p>	<p><b>【課題・提出物】</b> 問題集を参考にしたプリントを課題とする。 解答・丸付け・復習まで終えて、課題を提出する</p> <p><b>【第1学期の評価方法】</b> 定期試験の成績(80%) 1 学期中間試験・1 学期期末試験の計 2 回 学習態度等の平常点(20%) 問題集の課題の提出状況・小テストの成績・GW の課題の提出状況の評価する。</p>

	月	学習内容	学習のねらい 学習チェックリスト
2 学 期	9	<p style="text-align: center;"><b>スタディーサポート(9/2)</b></p> <p>第4章 三角関数 [16]            第2節 加法定理(6)            加法定理            加法定理の応用</p> <p>《数学B》</p> <p>第1章 平面上のベクトル [15]            第1節 ベクトルとその演算(10)            ベクトル            ベクトルの演算            ベクトルの成分            ベクトルの内積</p>	<p><input type="checkbox"/>加法定理を用いた計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>2倍角の公式を用いた計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角関数の合成ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>合成や2倍角の公式を用いて方程式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>合成や平方完成を用いて、最大・最小の問題が解ける。</p>
	10	<p>第2節 ベクトルと平面図形(5)            位置ベクトル            ベクトルの図形への応用</p> <p style="text-align: center;"><b>2学期中間試験(10/11~14)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>2学期中間まで【19】</b></p> <p>《数学II》</p> <p>第5章 指数関数・対数関数 [11]            第1節 指数関数(5)            指数の拡張            指数関数</p> <p>第2節 対数関数(6)            対数とその性質            対数関数            常用対数</p>	<p><input type="checkbox"/>ベクトルの和・差・実数倍を図示や計算できる。</p> <p><input type="checkbox"/>1つのベクトルを2つのベクトルに分解できる。</p> <p><input type="checkbox"/>ベクトルの成分表示や大きさを求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>成分を用いて、2つのベクトルの和で表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>平面座標を利用して、ベクトルの成分や大きさを求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>内積やなす角を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>平行・垂直条件から成分を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>内分点・外分点を位置ベクトルで表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>メネラウスの定理等を用いて、あるベクトルを2つのベクトルに分解できる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数が負、分数などの数を適切に表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数法則を用いて、累乗根の計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフから、数の大小関係が判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数方程式・不等式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>対数の値が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>対数の性質を利用して計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>底の変換公式から対数の値を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフから、数の大小関係が判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/>対数方程式・不等式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>常用対数を用いて、桁数や小数首位を求めることができる。</p>

11	<p>第6章 微分法と積分法 [11]</p> <p>第1節 微分係数と導関数(6)</p> <p>微分係数 導関数とその計算 接線の方程式</p> <p style="text-align: center;">ベネッセ総合学力テスト(11/1)</p>	<p><input type="checkbox"/> 平均変化率や極限值を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 微分係数が接線の傾きであることを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 定義に基づいて導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算や微分係数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 公式を用いて、接線の方程式を求めることができる。</p>
12	<p>第2節 関数の値と変化(5)</p> <p>関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用 (不等式への応用を除く)</p> <p style="text-align: center;">2学期期末試験(12/5~8)</p> <p style="text-align: center;"><b>2学期期末まで【25】</b></p> <p>第3節 積分法(9)</p> <p>不定積分 定積分 定積分と面積</p>	<p><input type="checkbox"/> 増減表を用いて、関数の増減や極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 方程式の実数解の個数を、グラフとx軸の共有点の個数から読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不定積分の計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 定積分の性質等を利用しながら計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 上端が変数xである定積分で表された関数を微分して処理することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> x軸や直線および曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>夏休み課題</p> <p>問題集を参考にしたプリントを課題とする。</p> <p>解答・丸付け・復習まで終えて、課題を提出する。</p>		
<p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験の成績(80%)</p> <p style="padding-left: 20px;">2学期中間試験・2学期期末試験の計2回</p> <p>学習態度等の平常点(20%)</p> <p style="padding-left: 20px;">夏休み課題の提出状況・問題集の課題の提出状況・小テストの成績を評価する。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	<p style="text-align: center;"><b>実力診断テスト(1/13)</b></p> <p>《数学B》 第3章 数列 [14] 第1節 等差数列と等比数列(9) 数列と一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和</p>	<p><input type="checkbox"/>数の規則性から一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差数列の初項や公差，一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差数列の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>自然数の和や奇数の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等比数列の初項や公差，一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等比数列の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差・等比中項の性質から，項を求めることができる。</p>
	2	<p style="text-align: center;"><b>ベネッセ総合学力テスト(2/2)</b></p> <p>第2節 いろいろな数列(5) 和の記号<math>\Sigma</math> 階差数列 いろいろな数列の和</p> <p>第3節 漸化式と数学的帰納法(4) 漸化式</p>	<p><input type="checkbox"/>数列の和を，<math>\Sigma</math>を用いて表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/><math>\Sigma</math>の公式を用いて，数列の和を計算できる。</p> <p><input type="checkbox"/>階差数列を利用して，一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>数列の和から一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>部分分数から和を求めることができる。</p> <p><input checkbox"="" type="checkbox/&gt;(等差)×(等比)の和を求めることができる。&lt;/p&gt; &lt;p&gt;&lt;input type="/>等差・等比の漸化式から一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>特殊解型の漸化式から一般項を求めることができる。</p>
	3	<p>基礎学力到達度テスト対策 [7]</p> <p style="text-align: center;"><b>3学期期末試験(3/2~6)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>3学期期末まで【31】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>春季特別授業(3/10~16)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>スタディーサポート(3/17)</b></p>	<p><input type="checkbox"/>特殊解型の漸化式から一般項を求めることができる。</p> <p>(<input type="checkbox"/>空間ベクトルの基本が理解できる。)</p>
		<p><b>【課題・提出物】</b> 冬休み課題 問題集を参考にしたプリントを課題とする。 解答・丸付け・復習まで終えて，課題を提出する。</p>	
		<p><b>【第3学期の評価方法】</b> 定期試験の成績(80%) 3学期中間試験・3学期期末試験の計2回 学習態度等の平常点(20%) 冬休み課題の提出状況・問題集の課題の提出状況・小テストの成績を評価する。</p>	
		<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 年間の成績は，学年末に各学期の成績を総合して評価する。</p>	

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>数学に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することができる。</p> <p>① 黒板の板書ではなく、自ら、考えだした思考の過程をノートにとり、教員の説明を聞いて確認する姿勢。</p> <p>② 授業の復習を大切にし、授業では、その知識を活用していく取り組み。</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p>
思考・判断	<p>問題を読み、解き方の考察ができる。</p> <p>① 題意を汲み取り、それまでに学習した内容を活用し、試行していく態度。</p> <p>② 細かい条件を読み取り、適切な数式処理が出来る素養。</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p> <p>定期試験</p>
技能・表現	<p>授業で得た知識を活用し、問題を解くことができる。</p> <p>① 日本語を正しく数式化していく技能。</p> <p>② 抽象的な数式に対し、積極的に活用・表現・計算していく姿勢。</p> <p>③ 図形を利用して物事を理解していく技能。</p>	<p>授業態度</p> <p>課題</p> <p>定期試験</p>
知識・理解	<p>授業の内容を理解し、活用することで問題を解くことができる。</p> <p>① 公式の良さを理解し、それを幅広く活用できる知識。</p> <p>② グラフを活用できる知識。</p> <p>③ 様々な角度から、問題の解答にアプローチできる理解。</p>	<p>課題</p> <p>定期試験</p>

### 4. 学習サポート

三角関数・対数関数・ベクトルは概念をつかむことが難しいと感じます。

授業の復習を大切にして、理解を深めましょう。

授業でつまづいた時は、早い段階で他者に相談し、解決していく態度が必要です。

また、校外模試や検定試験にも積極的に参加し、数学を通じて、学ぶこと・理解を深めることに取り組んでいきましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	5	2学年	Iコース理系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅱ 改訂版 新編 数学B 改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版)  
 副教材名 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B 基本と演習テーマ数学Ⅲ (数研出版)

### 1. 科目目標

- ・知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・答え（結果）だけでなく，解く過程である「解答」を通して言語表現力を養う。
- ・発見的・研究的内容にも取り組み，自ら気づき，学びとる姿勢（探究型学習）を身につける。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [4] <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">基礎学力到達度テスト(4/20)</div> 第2章 複素数と方程式 [11] 第1節 複素数と2次方程式の解(8) 複素数とその計算 2次方程式の解	<input type="checkbox"/> 複素数の四則計算ができる。 <input type="checkbox"/> 負の数の平方根を含む式の計算ができる。 <input type="checkbox"/> 解が虚数となる2次方程式が解ける。 <input type="checkbox"/> 判別式を利用して，解の判別ができる。
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実力診断テスト(5/9)</div> 解と係数の関係 第2節 高次方程式(3) 剰余の定理と因数定理 高次方程式  第3章 図形と方程式 [14] 第1節 点と直線(8) 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1学期中間試験(5/23~26)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; font-weight: bold;">1学期中間まで【20】</div> 第2節 円(6) 円の方程式	
			<input type="checkbox"/> 円の中心と半径を求めることができる。 <input type="checkbox"/> ある条件から円の方程式が求められる。

	6	<p>円と直線 2つの円</p> <p>第3節 軌跡と領域(6) 軌跡と方程式 不等式を表す領域</p> <p>第4章 三角関数 [16] 第1節 三角関数(10) 角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ</p>	<p><input type="checkbox"/>一般形から標準形に変形することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>円と直線の共有点の座標が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離の公式を用いて求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>円外からの接線の方程式が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>2つの円の位置関係を調べることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>線分の midpoint の軌跡を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>不等式の表す領域を図示することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>連立不等式の表す領域を図示できる。</p> <p><input type="checkbox"/>領域を利用する1次式の最大値・最小値を求めることができる。</p>
	7	<p>三角関数の性質 三角関数を含む方程式、不等式</p>	<p><input type="checkbox"/>度数法⇔弧度法の表記変換ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>角度が弧度法表記の三角比の値が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>相互関係を利用した問題を解くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>対称式を利用した問題を解くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/>単位円から三角関数のグラフを考察できる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフをかきながら、周期が判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/>平行移動や振幅を、関数から考察できる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角関数の性質から三角比の値が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角方程式・不等式が解ける。</p>
<p>1 学期期末試験(6/28~7/1)</p> <p>1 学期期末まで【20】</p>			
<p><b>【課題・提出物】</b> テーマ問題集の課題</p>			
<p><b>【第1学期の評価方法】</b> 定期試験の成績(80%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題の提出状況进行评估する。 校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
2 学 期	9	<p>スタディーサポート(9/2)</p> <p>第4章三角関数 第2節 加法定理(6) 加法定理</p>	<p><input type="checkbox"/>加法定理を用いた計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>2倍角の公式を用いた計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>三角関数の合成ができる。</p>

10	<p>加法定理の応用</p> <p>第5章 指数関数・対数関数 [11]</p> <p>第1節 指数関数(5)</p> <p>指数の拡張</p> <p>指数関数</p> <p>第2節 対数関数(6)</p> <p>対数とその性質</p> <p>対数関数</p> <p>常用対数</p>	<p><input type="checkbox"/>合成や2倍角の公式を用いて方程式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>合成や平方完成を用いて、最大・最小の問題が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>指数が負、分数などの数を適切に表せる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数法則を用いて、累乗根の計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフから、数の大小関係が判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数方程式・不等式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>対数の値が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>対数の性質を利用して計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>底の変換公式から対数の値が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフから、数の大小関係が判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/>対数方程式・不等式が解ける。</p> <p><input type="checkbox"/>常用対数を用いて、桁数や小数首位を求めることができる。</p>
11	<p>第6章 微分法と積分法 [11]</p> <p>第1節 微分係数と導関数(6)</p> <p>微分係数</p> <p>導関数とその計算</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2学期中間試験(10/11~14)</p> <p style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">2学期中間まで【22】</p> <p>接線の方程式</p> <p>第2節 関数の値と変化(6)</p> <p>関数の増減と極大・極小</p> <p>関数の増減・グラフの応用</p> <p>不等式への応用</p> <p>第3節 積分法(9)</p> <p>不定積分</p> <p>定積分</p> <p>定積分と面積</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ベネッセ総合学力テスト(11/1)</p> <p>《数学Ⅲ》</p> <p>第2章 式と曲線</p> <p>第1節 2次曲線(12)</p>	<p><input type="checkbox"/>平均変化率や極限值を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>微分係数が接線の傾きであることを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>定義に基づいて導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算や微分係数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>公式を用いて、接線の方程式が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>増減表を用いて、関数の増減や極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>方程式の実数解の個数を、グラフとx軸の共有点の個数から読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>両辺の差の関数を、増減表やグラフを用いて不等式を証明することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>不定積分の計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>定積分の性質等を利用しながら計算ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>上端が変数xである定積分で表された関数を微分して処理することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>x軸や直線および曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>焦点や準線から放物線の方程式が求められる。</p>

12	放物線 楕円 双曲線 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">2学期期末試験(12/5~8)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">2学期期末まで【26】</div> 第2節 媒介変数表示と極座標(7) 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式	<input type="checkbox"/> 放物線の方程式からグラフがかけられる。 <input type="checkbox"/> y軸が軸とする放物線を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 焦点, 長軸, 短軸を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 楕円の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 焦点がy軸にある楕円の方程式が求められる。 <input type="checkbox"/> 焦点, 頂点, 漸近線を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 双曲線の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 焦点がy軸上の双曲線の方程式が求められる。 <input type="checkbox"/> 平行移動した曲線の方程式が求められる。 <input type="checkbox"/> 曲線と直線の共有点や接線が求められる。 <input type="checkbox"/> 媒介変数から, 円, 楕円, 双曲線の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 媒介変数から, 平行移動された曲線の方程式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 極座標⇔直交座標で表すことができる。 <input type="checkbox"/> 与えられた条件から, 極方程式が求められる。 <input type="checkbox"/> 直交座標の方程式⇔極方程式で表すことができる。
	<b>【課題・提出物】</b> テーマ問題集の課題・夏休み課題	
	<b>【第2学期の評価方法】</b> 定期試験の成績(80%)・・・2学期中間試験・2学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・夏休み課題の提出状況の評価する。 校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。	

	月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
3 学 期	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">実力診断テスト(1/13)</div> ≪数学Ⅲ≫ 第3章 関数 [8] 分数関数 無理関数 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">ベネッセ総合学力テスト(2/2)</div> 逆関数と合成関数	<input type="checkbox"/> 漸近線などを求めて, グラフをかける。 <input type="checkbox"/> 直線との共有点の座標を求めることができる。 <input type="checkbox"/> グラフと直線の上下関係から, 各種の不等式を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 無理関数のグラフをかくことができる。 <input type="checkbox"/> 逆関数の定義域や値域を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 逆関数の定義や求める手順を理解し, 種々の関数の逆関数を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 2つの関数を続けて作用させることで, 合成関数を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 合成関数の定義や求める手順を理解し, 種々の関数の合成関数を求めることができる。

<p>2</p> <p>3</p>	<p>第4章</p> <p>第2節 関数の極限(1 1)</p> <p>関数の極限(1)</p> <p>関数の極限(2)</p> <p>三角関数と極限</p> <p>関数の連続性</p> <p>基礎学力到達度テスト対策(1 4)</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">3学期期末試験(3/2~5)</p> <p style="background-color: #cccccc; display: inline-block; padding: 2px;">3学期期末まで【33】</p>	<p><input type="checkbox"/>関数の極限の表記および<math>\infty</math>の記号について理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>簡単な関数の <math>x \rightarrow a</math> のときの極限を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>関数の極限が、正・負の無限大に発散する場合を調べられる。</p> <p><input type="checkbox"/>グラフを参考にしながら、関数の右側極限、左側極限、関数の極限の有無について考察することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>簡単な関数の <math>x \rightarrow \pm\infty</math> のときの極限を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>指数関数、対数関数の極限が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>簡単な三角関数の極限について考察できる。</p> <p><input type="checkbox"/>「はさみうちの原理」を用いて極限を求める方法に、興味・関心をもつ。</p> <p><input type="checkbox"/>連続関数の性質を理解している。</p>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>テーマ問題集の課題・冬休み課題</p>		
<p><b>【第3学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験の成績(80%)・・・3学期期末試験の計1回。</p> <p>課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・冬休み課題の提出状況进行评估する。</p> <p style="text-align: right;">校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。</p>		
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <p>年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。</p>		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>数学に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することができる。</p> <p>①黒板の板書ではなく、自ら考えだした思考の過程をノートにとり、教員の説明を聞いて確認する姿勢</p> <p>②授業の復習を大切にし、授業ではその知識を活用していく取り組み</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p>
思考・判断	<p>問題を読み、解き方の考察ができる。</p> <p>①題意を汲み取り、それまでに学習した内容を活用し、試行していく態度</p> <p>②細かい条件を読み取り、適切な数式処理ができる要素</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p> <p>定期試験</p>
技能・表現	<p>授業で得た知識を活用し、問題を解くことができる。</p> <p>①日本語を正しく数式化していく技能</p> <p>②抽象的な数式に対し、積極的に活用・表現・計算していく姿勢</p> <p>③図形を利用して物事を理解していく技能</p>	<p>授業態度</p> <p>課題</p> <p>定期試験</p>
知識・理解	<p>授業の内容を理解し、活用することで問題を解くことができる。</p> <p>①公式のよさを理解し、それを幅広く活用できる知識</p> <p>②グラフを活用できる知識</p> <p>③様々な角度から問題の解答にアプローチできる理解</p>	<p>課題</p> <p>定期試験</p>

4. 学習サポート

数学Ⅱ・数学Ⅲの教科書2冊を使う予定である。

また、内容は1年生の積み重ねになっているので、1年生の内容から復習が必要になってくる。

自ら積極的に問題集に取り組み、理解が深められるよう努力していきましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学B	3	2学年	Iコース理系

教科書名 改訂版 新編 数学B 改訂版 新編 数学III (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ数学II+B 基本と演習テーマ数学III (数研出版)

### 1. 科目目標

- ・知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・答え（結果）だけでなく，解く過程である「解答」を通して言語表現力を養う。
- ・発見的・研究的内容にも取り組み，自ら気づき，学びとる姿勢（探究型学習）を身につける。

### 2. 学習計画及び評価方法

月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
1 学 期	4 基礎学力到達度テスト対策 基礎学力到達度テスト(4/20)	
	第1章 平面上のベクトル [22] 第1節 ベクトルとその演算(11) ベクトル	<input type="checkbox"/> ベクトルの和・差・実数倍を図示や計算できる。 <input type="checkbox"/> 1つのベクトルを2つのベクトルに分解できる。
	5 ベクトルの演算 実力診断テスト(5/9) ベクトルの成分	<input type="checkbox"/> ベクトルの成分表示や大きさが求められる。 <input type="checkbox"/> 成分を用いて，2つのベクトルの和で表せる。
	1学期中間試験(5/23~26) 1学期中間まで【9】	<input type="checkbox"/> 平面座標を利用して，ベクトルの成分や大きさを求めることができる。
	6 ベクトルの内積 第2節 ベクトルと平面図形(9) 位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	<input type="checkbox"/> 内積やなす角を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 平行・垂直条件から成分が求められる。 <input type="checkbox"/> 内分点・外分点を位置ベクトルで表せる。 <input type="checkbox"/> メネラウスの定理等を用いて，あるベクトルを2つのベクトルに分解できる。
	7 1学期期末試験(6/28~7/1) 1学期期末まで【12】	<input type="checkbox"/> 座標空間上の点の位置を理解できる。 <input type="checkbox"/> 1つのベクトルを3つのベクトルに分解できる。
	【課題・提出物】 テーマ問題集の課題	
【第1学期の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題の提出状況进行评估する。 校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。		

	月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
2 学 期	9	<p style="text-align: center;">スタディーサポート(9/2)</p> <p>第2章 空間のベクトル [13]</p> <p>空間の点</p> <p>空間のベクトル</p> <p>ベクトルの成分</p> <p>ベクトルの内積</p> <p>ベクトルの図形への応用</p> <p>座標空間における図形</p>	<p><input type="checkbox"/>空間座標を利用して、ベクトルの成分や大きさを求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>内積やなす角を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>垂直条件を用いて、垂直なベクトルを求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>空間の位置ベクトルを3つのベクトルに分解できる。</p>
	10	<p style="text-align: center;">2学期中間試験(10/11~14)</p> <p style="text-align: center;">2学期中間まで【13】</p> <p>第3章 数列 [25]</p> <p>第1節 等差数列と等比数列(10)</p> <p>数列と一般項</p> <p>等差数列</p> <p>等差数列の和</p>	<p><input type="checkbox"/>数の規則性から一般項を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差数列の初項や公差、一般項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差数列の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>自然数の和や奇数の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>等比数列の初項や公差、一般項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>等比数列の和を求めることができる。</p>
	11	<p style="text-align: center;">ベネッセ総合学力テスト(11/1)</p> <p>等比数列</p> <p>等比数列の和</p> <p>第2節 いろいろな数列(6)</p> <p>和の記号<math>\Sigma</math></p> <p>階差数列</p> <p>いろいろな数列の和</p>	<p><input type="checkbox"/>等差・等比中項の性質から、項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>数列の和を、<math>\Sigma</math>を用いて表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/><math>\Sigma</math>の公式を用いて、数列の和を計算できる。</p> <p><input type="checkbox"/>階差数列を利用して、一般項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>数列の和から一般項を求めることができる。</p>
	12	<p style="text-align: center;">2学期期末試験(12/5~8)</p> <p style="text-align: center;">2学期期末まで【16】</p> <p>第3節 漸化式と数学的帰納法(7)</p> <p>漸化式</p> <p>数学的帰納法</p>	<p><input type="checkbox"/>部分分数から和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> (等差)<math>\times</math>(等比)の和を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/>群の中にある項の初項や和が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>等差・等比の漸化式から一般項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>特殊解型の漸化式から一般項が求められる。</p> <p><input type="checkbox"/>数学的帰納法を用いて、等式・不等式を証明することができる。</p>
		<p><b>【課題・提出物】</b></p> <p>テーマ問題集の課題・夏休み課題</p>	
		<p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <p>定期試験の成績(80%)・・・2学期中間試験・2学期期末試験の計2回。</p> <p>課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・夏休み課題の提出状況の評価する。</p> <p style="text-align: right;">校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。</p>	

	月	学習内容	学習のねらい及びチェックリスト
3 学 期	1	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">実力診断テスト(1/13)</div> 第4章 極限 [9] 第1節 数列の極限(8) 数列の極限 無限等比級数 無限級数	<input type="checkbox"/> 収束・発散を見極め、極限が調べられる。 <input type="checkbox"/> 数列の極限の性質から、種々の問題が解ける。 <input type="checkbox"/> 公比から無限等比数列の極限が調べられる。 <input type="checkbox"/> 漸化式による数列の極限值が求められる。 <input type="checkbox"/> 無限級数の和を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 無限等比級数の和を求めることができる。
	2	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">ベネッセ総合学力テスト(2/2)</div> 基礎学力到達度テスト対策 [10]	
	3	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">3学期期末試験(3/2~6)</div> <div style="background-color: #cccccc; display: inline-block; padding: 2px;">3学期期末まで【18】</div>	
<b>【課題・提出物】</b> テーマ問題集の課題・冬休み課題			
<b>【第3学期の評価方法】</b> 定期試験の成績(80%)・・・3学期期末試験の計1回。 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・冬休み課題の提出状況の評価する。 校外模試や確認テスト等も評価の対象となる場合もある。			
<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>数学に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加することができる。</p> <p>①黒板の板書ではなく、自ら考えだした思考の過程をノートにとり、教員の説明を聞いて確認する姿勢</p> <p>②授業の復習を大切にし、授業ではその知識を活用していく取り組み</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p>
思考・判断	<p>問題を読み、解き方の考察ができる。</p> <p>①題意を汲み取り、それまでに学習した内容を活用し、試行していく態度</p> <p>②細かい条件を読み取り、適切な数式処理ができる要素</p>	<p>授業態度</p> <p>課題の取り組み方</p> <p>定期試験</p>
技能・表現	<p>授業で得た知識を活用し、問題を解くことができる。</p> <p>①日本語を正しく数式化していく技能</p> <p>②抽象的な数式に対し、積極的に活用・表現・計算していく姿勢</p> <p>③図形を利用して物事を理解していく技能</p>	<p>授業態度</p> <p>課題</p> <p>定期試験</p>
知識・理解	<p>授業の内容を理解し、活用することで問題を解くことができる。</p> <p>①公式のよさを理解し、それを幅広く活用できる知識</p> <p>②グラフを活用できる知識</p> <p>③様々な角度から問題の解答にアプローチできる理解力</p>	<p>課題</p> <p>定期試験</p>

4. 学習サポート

数学B・数学Ⅲの教科書2冊を使う予定である。

また、内容は1年生の積み重ねになっているので、1年生の内容から復習が必要になってくる。

自ら積極的に問題集に取り組み、理解が深められるよう努力していきましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
化学	4	2	理系クラス

教科書名 化学基礎 新訂版(実教出版)

化学 新訂版(実教出版)

副教材名 インプレス化学基礎ノート(浜島書店)

インプレス化学ノート(浜島書店)

### 1 科目目標

- ・ 化学的な物事，現象に関する基本的な原理，法則，語句の意味を理解し，身の回りの物事，現象を化学的に探求する方法を身につける。

### 2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<b>&lt;化学基礎&gt;</b> <b>第3章 物質の変化</b> <b>2節 酸と塩基</b> 2 水素イオン濃度と pH  3 中和反応と塩  4 中和滴定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電離式，水のイオン積を用い，水素イオン濃度を求められるようにする。</li> <li>・ 水素イオン濃度から pH を求められるようにする。</li> <li>・ 酸，塩基を反応させ，水と塩ができる様子を反応式で表わせるようにする(中和反応)。</li> <li>・ 生成した塩の分類をする。</li> <li>・ 中和反応の関係をを用い，酸，塩基のモル濃度と体積を求められるようにする。</li> <li>・ 中和滴定(中和反応の実験)で使用する器具や操作について学習する。</li> <li>・ 滴定曲線(実験から得られるグラフ)の種類について学習する。</li> </ul>
	5	<b>3節 酸化還元反応</b> 1 酸化と還元  2 酸化剤と還元剤  <b>1学期中間試験</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酸素，水素，電子の授受から物質を分類する。</li> <li>・ 酸化数の定義を理解する。</li> <li>・ 酸化剤，還元剤の定義を理解する。</li> <li>・ 代表的な酸化剤，還元剤の反応式の書き方を学習する。</li> </ul>
	6	3 酸化還元反応の起こりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酸化還元反応式の書き方を学習する。</li> </ul>

	<p>4 身のまわりの酸化還元反応 (電池のしくみ)</p> <p>&lt; 化学 &gt;  <b>第1章 物質の状態と平衡</b>  <b>1節 状態変化</b>          1 物質の構造と沸点・融点 (物質の三態)</p> <p>7 2 状態間の平衡</p> <p><b>1 学期期末試験</b>  <b>&lt;1 学期 合計 26時間 &gt;</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化剤と還元剤の量的関係について学習する。</li> <li>・金属のイオン化傾向、水との反応、酸との反応について学習する。</li> <li>・様々な反応の様子を、電子を用いた式で表わせるようにする。</li> <li>・電池の原理について学習する。</li> <li>・ボルタ電池、ダニエル電池について、正極、負極の決定、各極で起こる反応、起電力を学習する。</li> <li>・物質の三態には、温度と分子間力が関係していることを理解する。</li> <li>・状態変化に伴うエネルギーの計算を出来るようにする。</li> <li>・圧力の単位、気液平衡、蒸気圧と蒸気圧曲線を学習する。</li> </ul>
<p><b>【課題・提出物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に配布する演習プリント</li> <li>・各範囲でのインプレス化学基礎・化学ノートの提出</li> </ul>		
<p><b>【1 学期の評価方法】</b></p> <p>① 定期試験の成績 (80%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・理解の確認とともに、実験について問う記述式問題も出題する。</li> </ul> <p>② 学習態度等の平常点 (20%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の学習過程で観点別評価内容の4項目について評価する。</li> <li>・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。</li> </ul>		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	<p>9 <b>3節 固体の構造</b></p> <p>1 結晶の構造</p> <p style="padding-left: 20px;">A 結晶の種類</p> <p style="padding-left: 20px;">B 単位格子</p> <p style="padding-left: 20px;">C 金属結晶(の構造)</p> <p style="padding-left: 20px;">D イオン結晶(の構造)</p> <p>2 アモルファス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン、分子、共有、金属結晶の構造、性質について学習する。</li> <li>・金属結晶の単位格子の配位数、充填率、原子半径、含有原子数を求められるようにする。</li> <li>・イオン結晶の単位格子の配位数、原子半径、含有原子数、密度を求められるようにする。</li> <li>・非晶質について学習する。</li> </ul>

	<p>(そのほかの結晶と非晶質)</p>	<p>10</p> <p><b>2節 気体の性質</b></p> <p>1 ボイル・シャルルの法則</p> <p>2 気体の状態方程式</p> <p><b>2学期中間試験</b></p> <p><b>4節 溶液</b></p> <p>1 溶解</p> <p>11</p> <p>2 溶解度</p> <p>3 希薄溶液の性質</p> <p>4 コロイド溶液の性質</p> <p><b>第2章 物質の変化と平衡</b></p> <p><b>1節 化学反応と熱・光エネルギー</b></p> <p>1 エネルギーの変換と保存</p> <p>2 化学反応と熱エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイルの法則を学習する。</li> <li>・シャルルの法則，絶対零度，絶対温度について学習する。</li> <li>・ボイル，シャルルの法則を学習する。</li> <li>・気体の状態方程式を用い，様々な値を求められるようにする。</li> <li>・混合気体の全圧，分圧を求められるようにする。</li> <li>・理想気体と実在気体の違いを理解する。</li>   <li>・溶解のしくみと極性の関係について学習する。</li> <li>・溶解度と飽和溶液，溶解度曲線，再結晶について学習する。</li> <li>・質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度の定義を理解し，それぞれの値を理解できるようにする。</li> <li>・ヘンリーの法則について学習する。</li> <li>・沸点上昇と凝固点降下について学習する。</li> <li>・沸点上昇度と凝固点降下を求められるようにする。</li> <li>・過冷却がどのような現象なのか理解し，冷却曲線から読み取れる情報を整理する。</li> <li>・浸透圧について学習する。</li>   <li>・コロイド粒子とコロイド溶液の性質（チンダル現象，ブラウン運動，透析，電気泳動）について学習する。</li> <li>・疎水コロイドと凝析，親水コロイドと塩析，保護コロイドについて学習する。</li>   <li>・熱化学方程式の意味および書き方について学習する。</li> <li>・様々な反応熱（燃焼熱，生成熱，溶解熱，中和熱，状態変化によって生じる熱，結合エネルギー</li> </ul>
--	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬季休業中の課題</li> </ul>
<p><b>【3学期の評価方法】</b></p> <p>① 定期試験の成績（80%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識・理解の確認とともに、記述式の問題など化学的思考について問う問題も出題する。</li> </ul> <p>② 学習態度等の平常点（20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時の学習過程で観点別評価内容の4項目について学習する。</li> <li>・ 課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。</li> </ul>
<p><b>【年間の学習状況の評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学期の成績を総合して評価をする。</li> </ul>

### 3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活や社会と関連を図りながら、様々な物質とその変化について関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを科学的に探求しようとする姿勢を身に着けている。</li> <li>・ 授業で得た実験結果をもとに、発展的な興味を持って自主的な活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加態度</li> <li>・ 授業で用いたプリント・ノート</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物質とその変化の中に問題を見出し、探求する過程を通して事象を科学的に考察することができている。</li> <li>・ 授業の内容を通して社会や生活との関連を考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加・態度</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 定期試験</li> </ul>
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物質とその変化に関する観察や実験を行い、基本操作を習得させるとともにそれらの課程や結果を的確に記録・整理し、事前の事物現象を科学的に探究する技能を身に着けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加・態度</li> <li>・ 授業ノート</li> <li>・ 定期試験</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 定期試験</li> </ul>

### 4 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時、学習相談を実施するので、つまづいている箇所などがあれば早めに質問をしに来てほしい。</li> <li>・ 3年生9月に基礎学力到達度テストがあるので、そこに向けて、2年生の間に化学基礎の内容を完璧にしておくことで3年生の時にスムーズに学習に入ることができる。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
生物	4	2 学年	I コース理系

教科書名 生物基礎 (数研出版) 生物 (数研出版)

副教材名 スクエア最新図説生物 (第一学習社) セミナー生物基礎 (第一学習社)  
セミナー生物 (第一学習社)

### 1. 科目目標

<p><u>1. 「生物」の面白さを知る</u></p> <p>「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを実感する。</p> <p><u>2. 学力をつける</u></p> <p>日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テスト、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。</p> <p><u>3. 客観的な視点を育む</u></p> <p>「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	<p><b>生物基礎</b></p> <p>第3編 生物の多様性と生態系</p> <p>第4章 植生の多様性と分布</p> <p>1. さまざまな植生</p> <p>2. 植生の遷移</p> <p>3. 気候とバイオーム</p>	<p>植生について、その構造や遷移のしくみについて学習する。さらに、地球上にはさまざまなバイオームが見られ、バイオームの分布は、気温と降水量によって決まることを理解する。</p>
		<p>第5章 生態系と保全</p> <p>1. 生態系</p> <p>2. 物質循環とエネルギーの流れ</p> <p>3. 生態系のバランス</p> <p>4. 人間活動と生態系の保全</p> <p>1 学期中間試験 [16 時間]</p>	
		<p><b>生物</b></p> <p>第1編 生命現象と物質</p> <p>第1章 細胞と分子</p> <p>1. 生体を構成する物質</p> <p>2. タンパク質の構造と性質</p>	<p>細胞を構成する物質について学習する。特に、タンパク質については、基本的構造や酵素などのはたらきを理解する。次に、細胞の内部構造とそのはたらきについて学習する。</p>

6	3. 酵素のはたらき 4. 細胞の構造	
7	5. 物質輸送とタンパク質 6. 情報伝達・認識とタンパク質 1 学期期末試験 [16 時間]	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	夏休みの課題・成果テスト 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成	「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細なしくみを理解する。また、窒素同化の概要についても理解する。  DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。また、遺伝子の発現調節の概要とバイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性を理解する。
	10	4. 窒素同化 2 学期中間試験 [20 時間]	
		第3章 遺伝現象の発現 1. DNAの構造と複製	
	10	2. 遺伝子の発現	
	11	3. 遺伝子の発現調節 4. バイオテクノロジー	
	12	2 学期期末試験 [20 時間]	
3 学 期	1	冬休みの課題・成果テスト 第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 1. 遺伝子と染色体 2. 減数分裂と遺伝情報の分配	染色体に遺伝子が存在することを学習し、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解する。また、動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を理解する。
	2	3. 遺伝子の多様な組み合わせ 4. 動物の配偶子形成と受精 5. 初期発生過程 6. 細胞の分化と形態形成 7. 植物の配偶子形成と発生  学年末試験 [28 時間] 年間実授業時間 [100 時間]	

【年間の学習状況の評価方法】

①定期試験の成績 [80%]

②平常点 [20%] → 課題・提出物、小テスト、出席状況など

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・授業ノート</li> </ul>
思考・判断	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・授業ノート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
技能・表現	科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。また、それを表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の様子</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。</li> <li>・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、学習相談を実施していくので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。</li> <li>・来年度の受験に向けて、2年生のうちに基本的な内容を理解しましょう。また、時間のあるときに1年生のときの生物基礎の復習も行っていきましょう。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	4	Iコース2学年	理系物理選択者

教科書名 「物理」および「物理基礎」(東京書籍)

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理(東京書籍)

WINSTEP 物理基礎(ラーズ)

### 1. 教科目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。
3. 物理の学習を通じて、自ら主体的に学ぶ姿勢と、他者と協働して学習する態度を身に付ける。

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

### 2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	1 熱 2 熱量保存の法則 熱の利用	比熱・熱容量・熱量保存の法則について理解する。 熱力学第一法則について理解する。 熱機関の熱効率について理解する。
	5	1 波の性質 1 波と媒質の運動 2 波の伝わり方	波とは何か理解し、周期や振動数について学ぶ。 縦波と横波について理解する。 重ね合わせの原理について学び、定常波について理解する。
		2 音 1 音の性質 2 音と振動	音波の性質について理解し、弦と気柱の振動について学ぶ。
	6	<b>1学期中間試験</b> 力とのはたらき 3 さまざまな運動とはたらく力 1 剛体にはたらく力のつり合い 2 力のモーメント	圧力、水圧、浮力を理解する。 モーメントについて理解し、剛体における力のつり合いについて理解する。

		2 さまざまな運動① 1 平面上の運動 2 放物運動 <b>1学期期末試験</b>	平行な2力の合力、重心の位置を求める方法について学ぶ。 平面内の運動における相対速度について理解する。 水平方向、斜めに投射された物体の運動について学ぶ。
		<b>【課題・提出物】</b> ・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・WINSTEP <b>【第1学期の評価方法】</b> 定期試験 + 平常点(課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)	
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	3 さまざまな運動② 1 円運動 2 慣性力 3 万有引力	角速度、周期、回転数について理解する。 円運動が加速度運動であることを理解し、運動方程式を立てる。 慣性力を理解し、遠心力についても学習する。 ケプラーの法則について学習する。 万有引力と重力について学ぶ。
	10	4 さまざまな運動③ 1 単振動	等速円運動と単振動の関係を理解する。 単振動の速度、加速度について学ぶ。 単振動を引き起こす力がどのような力か理解し、運動方程式の立式をする。
	11		単振動の例として、ばね振り子や単振り子について学ぶ。
		<b>2学期中間試験</b> 5 運動量 1 運動量と力積 2 運動量保存の法則 3 反発係数	運動量と力積の関係、運動量保存の法則について学ぶ。 反発係数の式を理解し、運動量保存の法則の式と連立して用いる。
	12	1 気体分子の運動と圧力 1 気体の性質 2 気体分子の熱運動	ボイルシャルルの法則、状態方程式について理解する。 気体分子の運動と圧力の関係について理解する。

		2 気体の状態変化 1 気体の状態変化 2 熱機関と熱力学第2法則	状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係について理解する。 熱現象の不可逆性の観点から熱力学第2法則を学び、熱効率を求める。
<b>2学期期末試験</b>			
【課題・提出物】			
・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・夏期休業中課題			
【第2学期の評価方法】			
定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12	1 波の性質	1 波の表し方
	1		2 波の伝わり方
			波の干渉と回折について理解する。
			反射の法則、屈折の法則を理解する。
	2 3	2 音の性質	2 音のドップラー効果
ドップラー効果の原理を理解し、説明する。 音源、観測者が運動する場合のドップラー効果について理解する。			
<b>3学期期末試験</b>			
【課題・提出物】			
・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・冬期休業中課題			
【第3学期の評価方法】			
定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)			
【年間の学習状況の評価方法】			
定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)			

### 3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象に関心を持ち、科学的な見方をしているか。</li> <li>・授業に意欲的に参加し、論理的に探究しようとする態度が見えるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・演習プリントへの取り組み</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな物理現象を論理的に考察・分析し、その本質を原理や法則から説明できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動への取り組み</li> <li>・定期試験の思考・応用問題</li> <li>・演習プリントへの取り組み</li> </ul>
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動（AL）において、物理の法則や原理、課題の解法についての的確に表現する方法を習得しているか。</li> <li>・課題や実験のレポートにおいて、的確に表現する方法を習得しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALの振り返りシート</li> <li>・定期試験の記述解答</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動を通して、さまざまな自然現象の背景には原理や法則があることを理解できたか。</li> <li>・自然現象を定量的に考察するため、物理的な概念や法則を正しく理解できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の知識・理解に関する問題</li> <li>・ALの確認テスト</li> </ul>

### 4. 学習サポート

<p>1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を身につけましょう。</p> <p>2. 物理法則の導出過程を大切に、論理的な思考力を高めよう。</p> <p>3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。</p> <p>4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させましょう。</p> <p>&lt;定期試験に向けて&gt;</p> <p>1.演習プリントで基礎の確認。(教科書、授業プリントの見直しや解き直し)</p> <p>2.ニューグローバルを2～3周して、理解を深めましょう。</p> <p>&lt;模試に向けて&gt;</p> <p>1. ニューグローバルでしっかり復習。</p> <p>2.過去問題で実践演習。テスト形式で行い、自己採点・解き直し。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------